

健康たいとう21推進計画(第二次後期計画)にかかるとる事業の実績及び予定一覧

各項目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
I. 生涯を通じた健康づくりの推進						
1. 健康づくりのための分野別の取り組み						
(1) がんの予防と早期発見						
がんによる死亡率の低下を目指します。(重点)	① がんに関する正しい知識の普及・啓発	・がん予防のための知識と科学的根拠に基づく予防法の普及啓発	がん検診 がん検診受診率向上対策	がん検診受診勧奨用のチラシを作成し、各医療機関へ配布 医療機関で総合健康診査を受診した際に配布してもらい、がん検診の受診勧奨を行う(9月 8,000部) 区立中学校で行うがん教育と連携し、がん検診受診勧奨用のチラシを生徒に配布し、各家庭でがん検診の大切さを広めてもらう。(9月~12月)	がん検診受診勧奨用のチラシを作成し、啓発を図る(9月以降)	保健サービス課
		・がん患者及び家族への相談支援機関等の情報提供・支援	がん検診 がん検診受診率向上対策	区ホームページでの情報提供 変化する社会情勢に対応したがん検診について、区民へわかりやすい内容のホームページ作成を実施 「がん相談支援」に関するリーフレットの配布 窓口で医療機関作成のリーフレットを配布	区ホームページでの情報提供 「がん検診を受けてよかった」といった区民の体験談を掲載し、がん検診の大切さがより伝わる内容のホームページ作成を実施 「がん相談支援」に関するリーフレットの配布 窓口で医療機関作成のリーフレットを配布	保健サービス課
		・がん患者がウィッグ及び胸部補整具を必要とし購入(レンタル)した経費の一部を助成	がん患者 支援	上限3万円か購入(レンタル)額の1/2を比較し低い額を助成。 助成件数:68件	1回の申請につき上限10万円 (1回につき1個、1人あたり生涯で2回まで助成可) 助成件数:80件予定 令和4年4月から令和6年3月までに助成を受けた方には経過措置対応	保健サービス課
	② 効果的な受診率向上策の実施	・対象者別、年代別の効果的ながん検診の受診勧奨(区広報紙、区ホームページ等による継続的な周知)	がん検診 がん検診受診率向上対策	受診勧奨(5月、7月、9月) 40歳以上の区民へ個別に受診勧奨通知を送付 121,959人	受診勧奨(5月、7月、9月) 40歳以上の区民へ個別に受診勧奨通知を送付	保健サービス課
		・健康推進委員制度の活用によるがん検診の受診勧奨	がん検診 がん検診受診率向上対策	健康推進委員の活動機会を利用して、がん検診の受診勧奨を実施 健康推進委員リーダー会において、がん検診受診勧奨チラシとがん検診体験記募集チラシを配付(9月)	健康推進委員の活動機会を利用して、がん検診の受診勧奨を実施	保健サービス課
		・受診しやすい体制づくり	がん検診 がん検診受診率向上対策	胃がん内視鏡検査の運営委員会の実施 第1回運営委員会 7月31日 第2回運営委員会 12月26日 第3回運営委員会 2月(書面開催)	胃がん内視鏡検査の運営委員会の実施(2回)	保健サービス課

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
	③ がん検診の質の向上	・科学的根拠のある検診の実施	がん検診がん検診受診率向上対策	<p>がん検診の対象者にチケットや案内を送付(会社や自費で検診を受診する方にも送付)</p> <p>①胃がん検診(50歳以上の区民・偶数年齢)チケット 46,382通</p> <p>②乳がん検診(40歳以上の女性の区民・偶数年齢)チケット</p> <p>③子宮頸がん検診(20歳以上の女性の区民・偶数年齢)チケット ②+③45,822通</p> <p>④肺がん検診(40歳以上の区民)</p> <p>⑤大腸がん検診(40歳以上の区民)</p> <p>④と⑤の対象者には、区の検診案内を送付し周知。</p> <p>受診者数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・胃がん検診(X線) 861人 ・胃がん検診(内視鏡) 5,911人 ・肺がん検診 4,445人 ・大腸がん検診 17,934人 ・乳がん検診 6,900人 ・子宮頸がん検診 8,927人 	<p>胃がん検診(X線)</p> <p>50歳以上の区民で令和6年度に偶数年齢になる方</p> <p>胃がん検診(内視鏡)</p> <p>50歳以上の区民で令和6年度に偶数年齢になる方</p> <p>肺がん検診</p> <p>40歳以上、1年に1回</p> <p>大腸がん検診</p> <p>40歳以上、1年に1回</p> <p>乳がん検診</p> <p>40歳以上の女性で令和6年度に偶数年齢になる方</p> <p>子宮頸がん検診</p> <p>20歳以上の女性で令和6年度に偶数年齢になる方</p>	保健サービス課
		・精密検査の確実な受診勧奨及び結果の把握	がん検診がん検診受診率向上対策	<p>胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん精密検査受診勧奨通知(随時)</p> <p>発送件数 842件</p> <p>受診済把握件数 391件</p>	<p>胃・肺・大腸・乳・子宮頸がん精密検査受診勧奨通知</p> <p>発送 延べ2,000件</p>	保健サービス課

(2) 糖尿病の予防、早期発見、重症化予防の推進

糖尿病の重症化を予防します。(重点)	① 生活習慣病を予防するための知識の普及・啓発	・世界糖尿病デー、健康増進普及月間等における啓発キャンペーンの実施	糖尿病対策食生活支援	<p>健康増進普及月間・食生活改善普及運動(9月)</p> <p>内容 パネル展示、資料配布、ポスター掲示、メールマガジン配信、</p> <p>実施場所 台東保健所、浅草保健相談センター、生涯学習センター、区役所地下食堂、図書館、区内スーパーマーケット、コンビニエンスストア</p> <p>糖尿病予防キャンペーン(11月)</p> <p>内容 糖尿病に関するパネル展示、資料配布</p> <p>場所 保健所・生涯学習センター・区役所地下食堂</p>	<p>9月の健康増進普及月間及び食生活改善普及運動、11月の世界糖尿病デー等に合わせてキャンペーンを実施</p>	保健サービス課
		・区広報紙、区ホームページ等を活用した普及啓発	糖尿病対策食生活支援	<p>区広報紙への掲載、各種イベント等及び啓発媒体配布による糖尿病予防の普及啓発</p>	<p>区広報紙への掲載、各種イベント等及び啓発媒体配布による糖尿病予防の普及啓発</p>	保健サービス課
		・生活習慣病予防に関する健康教室、健康出前講座、栄養相談の実施	糖尿病対策食生活支援	<p>糖尿病予防教室 2回 16人参加</p> <p>栄養相談 36回(延104人参加)</p> <p>栄養出前講座 5回(86人)</p>	<p>糖尿病予防教室 2回</p> <p>栄養相談 36回</p> <p>栄養出前講座 随時</p>	保健サービス課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			② 定期的な健康診断の受診促進のための啓発	・健診に関する周知、広報活動	総合健康診査 健診を受けようキャンペーン	・受診案内に、健診の重要性についてのコラムを掲載 ・健診を受けようキャンペーンの実施 場所 リバーサイドスポーツセンター 8月19日:スポーツの祭典【パラリンピック編】 10月9日:スポーツの祭典【オリンピック編】の中でそれぞれ実施	・受診案内に、健診の重要性についてのコラムを掲載 ・健診を受けようキャンペーンの実施 場所 リバーサイドスポーツセンター 10月:スポーツの祭典【オリンピック・パラリンピック編】にて実施	保健サービス課
				・健診後の情報提供と相談体制の強化	食生活支援	栄養相談 36回(延104人)	栄養相談 36回	保健サービス課
			③ 糖尿病の重症化予防	・糖尿病の治療継続の重要性の啓発	特定健康診査・特定保健指導	国民健康保険加入者で特定健康診査の結果、ヘモグロビンA1c6.5以上であり、糖尿病での医療機関受診が確認できない方に、医療機関への受診勧奨と糖尿病重症化予防のための保健指導の利用案内を送付する。新型コロナウイルス感染症対策のため、令和2年度よりICT面接を導入している。 対象者 121人 申込者 6人 保健指導 延べ 61回	国民健康保険加入者で特定健康診査の結果、ヘモグロビンA1c6.5以上であり、糖尿病での医療機関受診が確認できない方に、医療機関への受診勧奨と糖尿病重症化予防のための保健指導の利用案内を送付する。 対象者(予定) 246人	国民健康保険課
				・地域関係機関との糖尿病に係る地域連携の推進	特定健康診査・特定保健指導	1回	1回	国民健康保険課

(3) 適切な食事と適度な運動による健康づくりの推進

① 適切な量と質の食事をとる人を増やします。 ② 適切な量と質の運動習慣を身につける人を増やします。 ③ メタボリックシンドローム、男性のBMI25以上の割合を減らします。(重点)	① 情報提供・知識の普及・啓発	・健康増進普及月間・食生活改善普及運動等を活用した啓発	健康総合相談 食生活支援	健康増進普及月間・食生活改善普及運動(9月) 内容 パネル展示、資料配布、ポスター掲示、メールマガジン配信 実施場所 台東保健所、浅草保健相談センター、生涯学習センター、区役所地下食堂、図書館、区内スーパーマーケット、コンビニエンスストア	9月の健康増進普及月間・食生活改善普及運動に合わせてキャンペーンを実施	保健サービス課
		・若い世代への栄養に関する情報提供及び健康増進センターの周知と活用促進	食生活支援	リーフレット送付(4月) 子宮頸がん検診対象者(20~38歳偶数年齢)約14,600人 女性の健康週間での資料配布(3月)	リーフレット送付 子宮頸がん検診対象者(20~38歳偶数年齢) 女性の健康週間での資料配布	保健サービス課
		・給食を提供している施設への栄養情報のメール配信と肥満とやせの改善に向けた指導	特定給食施設指導	栄養情報の配信(20回) 77施設	栄養情報の配信(20回) 72施設	保健サービス課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			② 栄養相談・講習会の充実	・ライフステージや健康課題に応じた栄養相談、講習会、調理実習の実施	食生活支援	離乳食講習会 18回(134人) 幼児食講習会 6回(59人) 親子クッキング 1回(18人) 夏休み実験隊 1回(21人) 栄養相談 36回(延104人) 栄養出前講座 5回(86人) 電話・所内相談等 随時(延1,149人)	離乳食講習会 18回 幼児食講習会 6回 親子クッキング 1回 栄養相談 36回 栄養出前講座 随時 電話・所内相談等 随時	保健サービス課
				・地域の医療機関との連携	食生活支援	栄養相談 36回(延104人)	栄養相談 36回	保健サービス課
				・食品の栄養成分表示の正しい見方の普及	食生活支援	栄養相談 36回(延104人) 栄養出前講座 年5回86人	栄養相談 36回 栄養出前講座 随時	保健サービス課
			③ 適切な運動習慣を身につけるための取り組み	・身近でできる運動の普及・啓発	シニアクラブ活動支援	輪投げ大会(12月6日) 会場 台東リバーサイドスポーツセンター 参加者 シニアクラブ会員及び入会希望者(97人)	輪投げ大会(12月11日予定) 会場 台東リバーサイドスポーツセンター 対象 シニアクラブ会員及び入会希望者 100人程度 健康教室事業助成 台東区シニアクラブ連合会実施の軽スポーツ講習会への助成	健康課
				・たいとうやまびこ塾		令和2年度をもって事業終了		生涯学習課
				・健康推進委員活動との協働・連携	健康づくり啓発推進	健康推進委員リーダー会の開催 計6回	健康推進委員リーダー会の開催 隔月(計6回)	保健サービス課
				・区内ウォーキングマップ、運動教室、運動施設などの情報提供	健康づくり啓発推進	隔年作成のため作成せず(次回作成予定:令和6年度)	ウォーキングマップの作成(8,500部) 健康推進委員推薦のウォーキングコースを掲載 配布場所 区役所、台東保健所、区民事務所等	保健サービス課
				台東区スポーツガイドマップ	区内のスポーツ施設や運動ができる場所、また、スポーツイベントなどスポーツに関する情報をわかりやすく提供し、区民がいつでもスポーツに親しむことができるように活用してもらう。 発行:令和6年2月	発行なし(隔年発行)	スポーツ振興課	
			④ 自主活動の育成・支援及び連携	・町会や自主グループへの出前講座	食生活支援	栄養出前講座 年5回86人	栄養出前講座(随時)	保健サービス課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
(4) 受動喫煙防止対策								
成人の喫煙率減少を目指します。(重点)	① 喫煙と受動喫煙による健康への影響についての知識の普及啓発	・講演会の開催、禁煙週間でのパネルや模型の展示等による普及啓発	たばこ対策推進	禁煙週間キャンペーン(5月22日～6月23日)等でパネル・模型の展示による啓発を実施。	禁煙週間キャンペーン(5月20日～6月21日)等でパネル・模型の展示による啓発を実施。	保健サービス課		
		・小中学校における喫煙及び受動喫煙による健康への影響に関する普及啓発	たばこ対策推進	小中学校での喫煙防止教育 谷中小学校 6月 上野小学校 6月 忍岡中学校 6月 浅草中学校 6月 上野中学校 7月 桜橋中学校 7月 富士小学校 10月 千束小学校 10月 平成小学校 12月 田原小学校 12月 金竜小学校 12月 東浅草小学校 12月 金曾木小学校 1月	小中学校での喫煙防止教育 東浅草小学校 6月 上野小学校 6月 浅草中学校 7月 桜橋中学校 7月 千束小学校 10月 富士小学校 11月 忍岡小学校 11月 蔵前小学校 11月 田原小学校 12月 金竜小学校 12月 松葉小学校 2月 駒形中学校 2月	保健サービス課		
	② 禁煙希望者への支援	・禁煙についての相談への対応と医療機関の紹介(禁煙外来マップの配布)	たばこ対策推進	禁煙補助薬の出荷保留に伴い、台東区内の医療機関における禁煙外来を一時休止しているため、台東区禁煙外来マップの作成および配布の延期継続	禁煙補助薬の出荷保留は継続しているが、区内医療機関に対し現時点での禁煙外来実施状況を調査・把握令和6年度版禁煙外来マップの作成・配布および区ホームページへ掲載	保健サービス課		
		・医療機関と連携した禁煙サポートの実施	たばこ対策推進	禁煙補助薬の出荷保留に伴い、台東区内の医療機関における禁煙外来を一時休止しているため、台東区禁煙外来マップの作成および配布の延期継続	禁煙補助薬の出荷保留は継続しているが、区内医療機関に対し現時点での禁煙外来実施状況を調査・把握令和6年度版禁煙外来マップの作成・配布および区ホームページへ掲載	保健サービス課		
	③ 受動喫煙防止対策推進の強化	・台東区受動喫煙防止対策推進キャラクターの活用	たばこ対策推進	小中学校での喫煙防止教育において、受動喫煙防止対策推進キャラクター「けむたいぞう」反射ホルダーを配布スポーツの祭典「たいとうスポーツフェスタ」をはじめとしたイベント等において、「けむたいぞう」反射ホルダーおよびミニハンカチを配布	小中学校での喫煙防止教育や各種イベント等において、受動喫煙防止対策推進キャラクター「けむたいぞう」啓発品を配布	保健サービス課		
		・おいしい空気おもてなし店の登録事業	たばこ対策推進	令和2年4月1日改正健康増進法及び東京都受動喫煙防止条例が全面施行されたため登録事業は終了		保健サービス課		
		・ハローベビー学級(両親学級)、乳児健康診査等実施時の保健指導	たばこ対策推進	啓発リーフレットの配布 ハローベビー学級(両親学級)、ゆりかご・たいとう面接、乳児健康診査実施時	啓発リーフレットの配布 ハローベビー学級(両親学級)、ゆりかご・たいとう面接、乳児健康診査実施時	保健サービス課		
	④ COPD予防と早期発見の推進	・COPDに関する啓発の推進	たばこ対策推進	台東保健所および中央図書館特集コーナーにおいてパネル展示、リーフレットの配布 区広報紙11月5日号、X、ラインを通じた啓発(11月15日世界COPDデー)	台東保健所および中央図書館においてパネル展示、リーフレットの配布 区広報紙、X、ラインを通じた啓発	保健サービス課		

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
(5) 歯と口腔の健康づくり								
	①	口腔機能の維持向上と満足度の向上を目指します。	① 歯科健康診査の受診促進	・ハイリスク者(障害児・者、有病者、高齢者等)への受診勧奨と必要に応じた歯科保健指導の実施	歯科衛生相談	障害者の歯科健診・保健指導(3回) 対象 福祉作業所通所者 34人 産婦歯科健診・保健指導(10回) 82人 歯科衛生相談(定期歯科健診)(46回) 対象 区民(幼児ハイリスク者等) 304人	障害者の歯科健診・保健指導(3回) 対象 福祉作業所通所者 産婦歯科健診・保健指導(10回) 歯科衛生相談(定期歯科健診)(46回) 対象 区民(幼児ハイリスク者等)	保健サービス課
				歯科基本健康診査	歯科基本健康診査 通年 対象 30・35・40～55・60・65・70・75・80・85歳の区民 6,455人	歯科基本健康診査 (通年/20歳は10月から3月) 対象 20・30・35・40～55・60・65・70・75・80・85歳の区民		
	②	歯の喪失防止を促進します。	・妊婦歯科健康診査の推進	母子歯科健康診査	妊婦歯科健康診査(通年) 706人	妊婦歯科健康診査(通年)	保健サービス課	
	③	歯科疾患の減少を目指します。		母子健康診査	母子健康診査 歯科基本健康診査	歯科健康診査等の問診票を使った普及啓発 1歳6か月児歯科健診(27回) 1,111人 3歳児歯科健診 (27回) 1,122人 歯科基本健康診査(通年) 30・35・40～55・60・65・70・75・80・85歳の区民 6,455人	歯科健康診査等の問診票を使った普及啓発 1歳6か月児歯科健診(27回) 3歳児歯科健診 (27回) 歯科基本健康診査(通年/20歳は10月から3月) 対象 20・30・35・40～55・60・65・70・75・80・85歳の区民	保健サービス課
	④	かかりつけ歯科医を持つ区民の割合を増やします。	② 歯科保健の普及・啓発	・歯科健康診査時の質問調査票を活用したライフステージに応じた普及啓発	歯科衛生相談 歯科基本健康診査	むし歯ハイリスク児への歯科健診受診の個別勧奨(通年) 77件 歯科基本健康診査ニュースレター送付(通年) 1,932通	むし歯ハイリスク児への歯科健診受診の個別勧奨(通年) 歯科基本健康診査ニュースレター送付(通年)	保健サービス課
				・健康学習会の継続実施(永久歯のむし歯予防講習会等)	健康学習	保育園等での歯みがき指導 区内保育園等の園児対象(36園946人)	保育園等での歯みがき指導 区内保育園等の園児対象(40園程度)	保健サービス課
			・乳幼児期からの健全な口腔機能の育成と生活習慣の獲得のための支援(お口ふれあい教室、歯ッピー教室等)	歯科衛生相談	赤ちゃんお口ふれあい教室(24回)176人 親子の歯ッピー教室(24回)99人 歯と口の相談室(34回)54人 乳幼児親子対象 「赤ちゃんの歯とお口の健康情報」の個別通知で普及啓発 1,301人	赤ちゃんお口ふれあい教室(24回) 親子の歯ッピー教室(24回) 歯と口の相談室(30回程度) 乳幼児親子対象 「赤ちゃんの歯とお口の健康情報」の個別通知で普及啓発	保健サービス課	
		・口腔ケアの普及啓発(健口体操、替え歌舌口調音頭等)	歯科基本健康診査	オーラルフレイル予防普及啓発 歯科基本健康診査(後期高齢者)での普及啓発(通年) 75・80・85歳の区民 825人 ニュースレター送付(後期高齢者) 253通	オーラルフレイル予防普及啓発 歯科基本健康診査(後期高齢者)での普及啓発 ニュースレター送付	保健サービス課		

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
		・8020運動の啓発と8020・9020達成者の表彰及び区民への紹介	歯科衛生相談 8020・9020達成者表彰	区広報紙掲載 歯と口の健康週間、区民の歯と口の健康情報の普及啓発 歯と口の健康週間のイベント 歯の講演会(1回) 75人 歯の健康相談(8回) 316人 8020・9020達成者表彰(1回) 8020達成者 121人 9020達成者 14人 パネル展示での普及啓発	区広報紙掲載 歯と口の健康週間、区民の歯と口の健康情報の普及啓発 歯と口の健康週間のイベント 歯の講演会(1回) 歯の健康相談(8回) 8020・9020達成者表彰(1回) パネル展示での普及啓発	保健サービス課
	③ かかりつけ歯科医の定着促進	・専門的口腔ケアを受ける習慣の定着支援	歯科基本健康診査 母子歯科健康診査 母子健康診査	歯科基本健康診査(通年) 対象 30・35・40～55・60・65・70・75・80・85歳の区民 6,455人 妊婦歯科健康診査(通年) 706人 3歳児健診(27回) 1,122人	歯科基本健康診査(通年/20歳は10月から3月) 対象 20・30・35・40～55・60・65・70・75・80・85歳の区民 妊婦歯科健康診査(通年) 3歳児健診(27回)	保健サービス課
		・かかりつけ歯科医による、在宅療養者の摂食・嚥下障害等の支援	口腔ケア連携推進	区民向け講演会 実施(3回) 延参加者数 40名	口腔ケアの周知を通して、かかりつけ歯科医が行う在宅療養者への摂食・嚥下障害等の支援について啓発を図る。 ・区民向け講演会(4回)	健康課
		・地区歯科医師会、地区医師会との連携	糖尿病対策	糖尿病対策地域連携委員会(1回)	糖尿病対策地域連携委員会(1回)	保健サービス課
	④ 歯・口腔に関する保健・医療・福祉の連携	・高齢者やその家族、医療・介護関係者に対して三ノ輪口腔ケアセンターが十分活用されるよう周知	口腔ケア連携推進	三ノ輪口腔ケアセンターの周知 口腔ケア普及啓発動画、研修資料などを区ホームページに掲載。(通年) 区民向け講演会 実施(3回) 延参加者数 40名	三ノ輪口腔ケアセンターについて、医療マップやホームページ、オンラインによる普及啓発等により区民や介護事業者等に周知を図る。また、口腔ケアの普及啓発を図るため、区民を対象に講演会を実施する。 ・区民向け講演会 4回	健康課
		・在宅、介護施設等における口腔ケアの継続実施	口腔ケア連携推進	口腔ケアに関する指導、マネジメント 電話相談対応 計28件 在宅高齢者宅や区内5特養等への訪問相談介入 計233件 三ノ輪口腔ケアセンター摂食嚥下に係る指導等実績 延267件 関係機関と連携した口腔アセスメント 12件	在宅高齢者に対して、健康改善、維持を目的とした口腔ケア・マネジメントを継続して実施する。 また、区内特別養護老人ホーム等、介護施設の職員に対して入居者の健康改善・維持を目的とした口腔ケア・マネジメントに関する研修を実施する。 対象 特養ホーム5か所(浅草・千束・三ノ輪・蔵前・台東)、老人保健施設千束 関係機関と連携し、患者(利用者)の口腔アセスメントを行い、必要に応じて適切な歯科医療機関の紹介を行う。	健康課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
				・医療関係者、在宅介護事業者、施設職員等に対する口腔ケア研修等の継続実施	口腔ケア連携推進	口腔ケアの普及啓発 介護事業者等への研修会 令和5年5月30日(火)ケアマネジャー向け研修会 参加者25名 口腔ケアマネジメントセミナー 令和6年3月6日(水) 参加者31名 同行訪問事業 (訪問歯科診療に対応する歯科従事者の育成) 参加者 歯科医師4名 歯科衛生士6名 管理栄養士1名	継続して口腔ケアの普及啓発を図るため、介護事業者などを対象に講演会、研修会を実施する。 介護事業者・介護施設向け研修会(2回) 口腔ケア・マネジメントセミナー(講義研修)(1回) 訪問歯科診療をこれから始める歯科医師に対し、現場の体験を通じて訪問歯科診療の基礎や多職種連携について指導・助言を行う。	健康課

(6) こころの健康づくりの充実

こころの健康づくりのため、正しい知識と情報の提供を行い、支援体制の充実を図ります。(重点)	① 区民の「こころの健康」に関する健康学習・情報提供の充実	・「こころの健康」に関する正しい知識と情報の提供	精神保健福祉相談等	区広報紙や区ホームページを通じて、正しい知識と情報の提供を行った。	区広報紙や区ホームページを通じて、正しい知識と情報の提供を行う。	保健予防課
			教育相談	臨床心理士によるカウンセリング 本人や保護者を対象に子供の教育上のさまざまな悩みに関して、カウンセリングを実施。 来所相談 2,402件 電話相談 87件 オンライン相談 1件 1人1台端末を活用した子供の相談 受付6件	臨床心理士によるカウンセリング 本人や保護者を対象に子供の教育上のさまざまな悩みに関して、カウンセリングを実施。 来所相談(予約制) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～17:30 電話相談(随時) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～16:30 ※来所・電話相談とも水曜日は18:30まで オンライン相談(予約制) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～16:30 1人1台端末を活用した子供の相談 対象 台東区立小中学校児童・生徒	教育支援館
			台東区働き方セミナー 職場のメンタルヘルス	なし (コロナ禍で変容した労働者の心理や精神的負担を和らげる方法等学び、精神的不調による休職・退職を予防する一助となるよう、令和3年度のみ実施した単年度事業)	なし (コロナ禍で変容した労働者の心理や精神的負担を和らげる方法等学び、精神的不調による休職・退職を予防する一助となるよう、令和3年度のみ実施した単年度事業)	産業振興課
		・「こころの健康チェックシート」の普及啓発	精神保健福祉相談等	区民健康診査の通知にあわせてシートを区民あてに送付する (66,000枚)ほか、区広報紙等に掲載し普及啓発を図った。	区民健康診査の通知にあわせてシートを区民あてに送付する (66,000枚)ほか、区広報紙等に掲載し普及啓発を図る。	保健予防課
		・保健・医療・福祉の関係機関と連携し、協議する場を設置	精神保健福祉相談等	精神保健福祉連絡協議会 令和6年3月25日(月) 15:30～16:30 情報提供の方法や周知拡充について協議 対象者:医師及び関係機関	精神保健福祉連絡協議会 情報提供の方法や周知拡充について協議	保健予防課

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
	② 相談窓口の認知度向上	・区広報紙や区ホームページなどを活用した周知	精神保健福祉相談等	区広報紙や区ホームページ等へ掲載し、相談窓口を周知した。	区広報紙や区ホームページ等へ掲載し、相談窓口を周知する。	保健予防課
		・周知についての協力を依頼する医療機関や事業所の拡充	精神保健福祉相談等	区内の福祉サービス事業所等へ周知の協力を依頼した。	区内の福祉サービス事業所等への周知協力を依頼	保健予防課
	③ 相談体制の充実	・区民に身近な相談機関である保健所・地域生活支援センターの機能の充実	精神保健福祉相談等	研修等の参加促進を行い、区民の相談ニーズに適切に対応し、満足度の向上のため、職員のスキルアップを図った。	研修等を通じて職員のスキルアップに努め、区民の相談ニーズに適切に対応するとともに、満足度の向上を図る。	保健予防課
		・都立精神保健福祉センター等の関係機関と連携	精神保健福祉相談等	精神保健福祉連絡協議会 令和6年3月25日(月)15:30~16:30 情報提供の方法や周知拡充について協議 対象者:医師及び関係機関	精神保健福祉連絡協議会 情報提供の方法や周知拡充について協議	保健予防課

(7) 地域の健康づくり

住民同士の支え合いにより、地域の健康づくりを推進していきます。	① 地域とのつながりを強める	・同じ悩みを持つ人同士のつながりづくりを支援する	すこやか育児相談	月齢に合わせた身体計測と保護者の相談、交流、ミニ講座 1~3か月児の育児相談(24回)239名 出張育児相談(72回)996名 1歳6か月からの育児相談(24回)197名 多胎児の会(4回)18組31名 オンライン2回、集合形式2回 ダウン症親子の会(1回)4組8名 プレパママ交流会(12回)22名 1~3か月児の育児相談にプレパママの見学・交流 子育て心理相談(36回)75名 オンライン育児相談(1回)1名	月齢に合わせた身体計測と保護者の相談、交流、ミニ講座 1~3か月児の育児相談(24回) 出張育児相談(72回) 1歳6か月からの育児相談(24回) 多胎児の会(6回) オンライン2回、集合形式4回(うち2回は保育あり) ダウン症親子の会 地区担当保健師の調整による実施 プレパママ交流会 1~3か月児の育児相談にプレパママの見学・交流 子育て心理相談(36回) オンライン育児相談(12回)	保健サービス課(浅草保健相談センター)
		・地域の健康課題を考え実践する地域座談会の実施	区民との協働による健康づくり	①地域座談会 5地域×3回 2地域×4回 計23回 ②全体座談会 1回	地域連絡会の開催	保健サービス課
		・健康関連イベントの開催	区民との協働による健康づくり	谷中まつり他4か所のイベントにて、生活習慣についてのインタビューを実施 地域座談会と全体座談会で、健康情報について啓発	他事業と連携し、健康課題を周知	保健サービス課
	② 自主的な活動への支援・連携	・健康推進委員活動の推進	健康づくり啓発推進	健康推進委員リーダー会の開催 計6回	健康推進委員リーダー会の開催 隔月(計6回)	保健サービス課
		・自主活動を行っているグループへの支援・連携	シニアクラブ活動支援	広報紙「朗友」の発行 年2回(8月・1月)	広報紙「朗友」の発行 発行回数 年2回(8月・1月) 掲載内容 台東区シニアクラブ連合会及び各クラブの活動内容の紹介、会員の投稿記事、会員募集記事等	健康課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			③ 地域の健康データに基づいた健康づくりの支援	・総合健康診査、がん検診、人口動態等の健康データの分析評価	がん検診精度管理委員会	胃がん内視鏡検査の講習会(3月4日)	胃がん内視鏡検査の講習会(2月)	保健サービス課
					台東区国民健康保険データヘルス計画・台東区国民健康保険特定健康診査等実施計画(第3期)	台東区国民健康保険におけるデータヘルス計画(第2期)の策定	台東区国民健康保険加入者を対象とした個別の保健事業の評価を行う。	国民健康保険課
					・健康データの発信	区民との協働による健康づくり	地域づくり交流会にて健康データを周知	健康課題を周知
			・地域住民と健康データを共有し、課題に基づいた健康づくりの実施	区民との協働による健康づくり	①地域座談会 5地域×3回 2地域×4回 計23回 ②全体座談会 1回	地域連絡会の開催		保健サービス課

2. 対象者別の健康課題への取り組み

(1) 次世代・親子の健康づくり

① 親子の健康保持増進を目指します。 ② 子どものこころの健康を目指します。 ③ 親子の切れ目のない健康づくりへの支援を目指します。	① 妊娠期から子育て期までの切れ目のない支援の充実	・妊婦との面接(ゆりかご・たいとう面接)、妊婦健康診査・妊婦歯科健康診査の助成、ハローベビー学級(両親学級)、産後ケア、乳児家庭全戸訪問の実施	ゆりかご・たいとう 出産・子育て応援ギフト	保健師等による妊婦への面接、育児パッケージ及び出産応援ギフトの配付 面接数 台東保健所(1,202人) 浅草保健相談センター(668人) その他(22人) 実施率 98.2%	保健師等による妊婦への面接、育児パッケージ及び出産応援ギフトの配布	保健サービス課(浅草保健相談センター)
			母子健康診査	妊婦及び乳幼児に対する健診の延受診者(回数) 妊婦健康診査(1回目) 1,808人 (2~14回目) 18,985人 3~4か月児健診 1,330人 6・9か月児健診 2,475人 1歳6か月児健診 1,113人 3歳児健診 1,130人	妊婦及び乳幼児に対する健診	保健サービス課(浅草保健相談センター)
			ハローベビー学級	妊娠・出産・育児について知識、育児技術の普及 対象 妊婦およびその配偶者 実施回数 46回639組	妊娠・出産・育児について知識、育児技術の普及 対象 妊婦およびその配偶者	保健サービス課(浅草保健相談センター)

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
					産後ケア	産後1年未満の母子に対する心身のケアやサポート 宿泊型 231人(延1,058日) 日帰り型 30人(延43日) 外来型 296人(延694回) 訪問型 126人(延247回)	宿泊型及び日帰り型 産後4か月未満の母子に対する心身のケアやサポートを実施 外来型及び訪問型乳房ケア 産後1年未満の母子に対する心身のケアやサポートを実施	保健サービス課(浅草保健相談センター)
					乳児家庭全戸訪問 出産・子育て応援ギフト	保健師等の訪問による支援、子育て応援ギフトの配付 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭 1,465件	保健師等の訪問による支援、子育て応援ギフトの配付 生後4か月までの乳児のいるすべての家庭対象	保健サービス課(浅草保健相談センター)
			・乳幼児健康診査、育児相談、発達相談、子育て心理相談の実施		母子健康診査	母子健康診査 妊婦及び乳幼児に対する健診の実施(通年) 発達相談 発達の遅れがある児の早期発見、保護者の不安軽減、発達の促進、発達の遅れの受容、親子の愛着形成等が図れるよう指導・助言を行う。 台東保健所 月2回(第2・第4火曜日) 個別・言語 浅草保健相談センター 月2回(第3水曜日、第4木曜日)言語・集団 延受診者数 診察48人、訓練指導18人、心理相談47人、言語指導62人(台東)・25人(浅草)、集団66人	母子健康診査 妊婦及び乳幼児に対する健診の実施(通年) 発達相談 発達の遅れがある児の早期発見、保護者の不安軽減、発達の促進、発達の遅れの受容、親子の愛着形成等が図れるよう指導・助言を行う。 台東保健所 月2回(第2・第4火曜日) 個別・言語 浅草保健相談センター 月2回(第3水曜日、第4木曜日)言語・集団	保健サービス課(浅草保健相談センター)
					教育相談	臨床心理士によるカウンセリング 本人や保護者を対象に子供の教育上のさまざまな悩みに関して、カウンセリングを実施。 来所相談 2,402件 電話相談 87件 オンライン相談 1件 1人1台端末を活用した子供の相談 受付6件	臨床心理士によるカウンセリング 本人や保護者を対象に子供の教育上のさまざまな悩みに関して、カウンセリングを実施。 来所相談(予約制) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～17:30 電話相談(随時) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～16:30 ※来所・電話相談とも水曜日は18:30まで オンライン相談(予約制) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～16:30 1人1台端末を活用した子供の相談 対象 台東区立小中学校児童・生徒	教育支援館

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
				・関係機関との連携強化	おやこサポート・ネットワーク	関係機関とのネットワーク会議(1回) 区内外の産科医療機関及び助産所等を対象に開催	関係機関とのネットワーク会議(1回) 区内外の産科医療機関及び助産所等を対象に開催	保健サービス課(浅草保健相談センター)
					教育相談	臨床心理士によるカウンセリング 本人や保護者を対象に子供の教育上のさまざまな悩みに関して、カウンセリングを実施。 来所相談 2,402件 電話相談 87件 オンライン相談 1件 1人1台端末を活用した子供の相談 受付6件	臨床心理士によるカウンセリング 本人や保護者を対象に子供の教育上のさまざまな悩みに関して、カウンセリングを実施。 来所相談(予約制) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～17:30 電話相談(随時) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～16:30 ※来所・電話相談とも水曜日は18:30まで オンライン相談(予約制) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～16:30 1人1台端末を活用した子供の相談 対象 台東区立小中学校児童・生徒	教育支援館
			② 地域ぐるみの子育て基盤強化による育児不安の軽減と児童虐待の防止	・育児相談の実施、子育て心理相談、MCG ※	要保護児童支援ネットワーク(あおい空)	保護者の育児不安を解消するためのグループミーティング(22回) 対象 育児不安のある母親 場所 日本堤子ども家庭支援センター	保護者の育児不安を解消するためのグループミーティング(22回) 対象 育児不安のある母親 場所 日本堤子ども家庭支援センター	子ども家庭支援センター
					家庭教育の振興(家庭教育学級)	保育園・こども園・幼稚園、小学校・中学校PTAを対象とした家庭教育学級等(42会場)でのグループ学習を通じ、親同志のつながりを深め、育児不安の軽減や孤立化の防止に努めた。 実施方法:集合型・オンライン・書面配付	保育園・こども園・幼稚園、小学校・中学校PTAを対象とした家庭教育学級等(42会場)でのグループ学習を通じ、親同志のつながりを深め、育児不安の軽減や孤立化の防止に努める。(通年) 実施方法 集合型・オンライン・書面配付	生涯学習課
					家庭教育の振興(乳幼児家庭教育学級)	乳幼児をもつ親・保護者同士が、身近な地域の中で交流を深め、学習をしていく場として「乳幼児家庭教育学級」を実施した。 対象 0～3歳までの乳幼児をもつ親子 時期 6～12月(4学級) 実施方法 集合型・オンライン	乳幼児をもつ親・保護者同士が、身近な地域の中で交流を深め、学習をしていく場として「乳幼児家庭教育学級」を団体に委託して実施する。 対象 0～3歳までの乳幼児をもつ親子 時期 6～12月(2学級) 実施方法 集合型・オンライン 他、生涯学習課主催で乳幼児をもつ親を対象とした講座を実施予定。	生涯学習課
					家庭教育の振興(家庭教育支援者養成講座)	子育て中の親の身近な相談者として、育児不安を軽減したり、共助の立場で支援する者を養成し、地域ぐるみの子育て基盤を強化した。また、親同士をつないで、子育ての孤立化を防止した。 対象 家庭教育・子育て支援に関心がある区内在住・在勤者他 回数 6回 実施方法 集合型・オンライン	子育て中の親の身近な相談者として、育児不安を軽減したり、共助の立場で支援する者を養成し、地域ぐるみの子育て基盤を強化する。また、親同士をつないで、子育ての孤立化を防止する。 対象 家庭教育・子育て支援に関心がある区内在住・在勤者他 回数 8回 実施方法 集合型・オンライン	生涯学習課

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
		・子ども家庭支援センター、児童館等の活用による地域交流の促進	子ども家庭支援センター運営	あそびひろば 3センター・1分室 計48,085人 親子遊びプログラム 3センター・1分室 計510回	あそびひろば 4センター 計60,100人 親子遊びプログラム 4センター 計528回	子ども家庭支援センター
		・父子健康手帳、マタニティキーホルダー等の活用による妊娠、出産環境の改善	母子健康診査	父子健康手帳、マタニティキーホルダー等の配布	父子健康手帳、マタニティキーホルダー等の配布	保健サービス課(浅草保健相談センター)
		・養育支援訪問事業関係者会議、要保護児童支援ネットワーク等による連携の強化	要保護児童支援ネットワーク	要保護児童に対して関係機関の緊密な連携により、子どもと家庭を的確に支援する。 代表者会議(1回/年)、実務者会議(1回/月)、関係者会議(随時)	要保護児童に対して関係機関の緊密な連携により、子どもと家庭を的確に支援する。 代表者会議(1回/年)、実務者会議(1回/月)、関係者会議(随時)	子ども家庭支援センター
	③ 児童・生徒の健康づくり	・適切な生活習慣(栄養・食生活・運動)を培うための啓発	小児生活習慣病予防健診	受診者 小学校4年生の希望者(542人) 中学校1年生の希望者(279人) 前年度または前々年度に「要医療」、 「要経過観察」の判定を受けた 児童(79人)・生徒(26人)	小・中学生の生活習慣病を早期に予防するため健康診断を実施し、食事や運動などの生活習慣を改善する。 対象 小学4年生及び中学1年生の希望者 前年度または前々年度の健診で「要医療」、 「要経過観察」の判定を受けた児童・生徒	学務課
		・小児生活習慣病予防健診の実施	小児生活習慣病予防健診	時期 7月21日～10月31日 場所 医師会協力医療機関	時期 7月20日～10月31日	
		・学校やスクールカウンセラー、教育相談機関によるカウンセリングの実施	スクールカウンセラー	小中学校での不登校やいじめ、しつけや心の問題等の教育相談を行い、カウンセリング等の機能充実を図るため、全区立小・中学校にカウンセラーを配置。 配置体制 小学校1校あたり週2日(年間616時間) 中学校1校あたり週1日(年間308時間) 1日7時間配置	小中学校での不登校やいじめ、しつけや心の問題等の教育相談を行い、カウンセリング等の機能充実を図るため、全区立小・中学校にカウンセラーを配置。 配置体制 小学校1校あたり週2日(年間616時間) 中学校1校あたり週1日(年間308時間) 1日7時間配置	指導課
		教育相談連携訪問	区立小・中学校を訪問して、スクールカウンセラーの専門性を生かした学校教育相談の体制づくりや、教育相談室との適切な連携についての協議や情報交換を行った。また私立を含む幼稚園・保育園・こども園に対しては、教育相談員が園児の観察を通じた助言を行った。 連携訪問件数 34校(園) 34件	区立小・中学校を訪問して、スクールカウンセラーの専門性を生かした学校教育相談の体制づくりや、教育相談室との適切な連携についての協議や情報交換を行う。また私立を含む幼稚園・保育園・こども園に対しては、教育相談員が園児の観察を通じた助言を行う。	教育支援館	

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
				・学校、相談機関、医療機関等の連携強化	スクールカウンセラー	小中学校での不登校やいじめ、しつけや心の問題等の教育相談を行い、カウンセリング等の機能充実を図るため、全区立小・中学校にカウンセラーを配置。 配置体制 小学校1校あたり週2日(年間616時間) 中学校1校あたり週1日(年間308時間) 1日7時間配置	小中学校での不登校やいじめ、しつけや心の問題等の教育相談を行い、カウンセリング等の機能充実を図るため、全区立小・中学校にカウンセラーを配置。 配置体制 小学校1校あたり週2日(年間616時間) 中学校1校あたり週1日(年間308時間) 1日7時間配置	指導課
					教育相談連携訪問	区立小・中学校を訪問して、スクールカウンセラーの専門性を生かした学校教育相談の体制づくりや、教育相談室との適切な連携についての協議や情報交換を行った。また私立を含む幼稚園・保育園・こども園に対しては、教育相談員が園児の観察を通じた助言を行った。 連携訪問件数 34校(園) 34件	区立小・中学校を訪問して、スクールカウンセラーの専門性を生かした学校教育相談の体制づくりや、教育相談室との適切な連携についての協議や情報交換を行う。また私立を含む幼稚園・保育園・こども園に対しては、教育相談員が園児の観察を通じた助言を行う。	教育支援館
				・薬物やアルコール、タバコの害についての知識の普及啓発	覚せい剤等乱用防止啓発活動	薬物乱用防止ポスター・標語コンクール 青少年の健全な育成を阻む薬物乱用問題について、自らが考える機会を持ってもらうため、区内中学生を対象に実施。 募集時期 7～9月 審査会 10月3日 応募作品数 ポスター265点、標語341点	薬物乱用防止ポスター・標語コンクール 青少年の健全な育成を阻む薬物乱用問題について、自らが考える機会を持ってもらうため、区内中学生を対象に実施予定。 募集時期 7～9月 審査会 10月	生活衛生課
					薬物乱用防止教室	各小・中学校において、保健体育や学級活動の中で全校学習。また、授業とは別にセーフティ教室等を開催する学校もあった。	各小・中学校において、保健体育や学級活動の中で全校学習。また、授業とは別にセーフティ教室等を開催する学校もある。	指導課
			④ 浅草保健相談センター新施設整備(令和元年度開設)	・「母子健康包括支援センター」の機能の拡充	浅草保健相談センター新施設整備	(元年度開設)	(元年度開設)	保健サービス課(浅草保健相談センター)
				・親子が気軽に立ち寄ることのできる、子育て世代にやさしい施設	おやこサポート・ネットワーク	乳児期の保護者等の交流支援実施 ①3～4か月児健診時の交流支援 実施回数48回337組 ②育児相談時の交流支援 実施回数24回239組 ③ひろば体験の交流支援 実施回数12回52組 ④家庭訪問型子育て支援 対象 子育てに不安を抱える1歳未満の親子(40組)	乳児期の保護者等の交流支援実施 ①3～4か月児健診時の交流支援 実施回数48回 ②育児相談時の交流支援 実施回数24回 ③ひろば体験の交流支援 実施回数12回 ④家庭訪問型子育て支援 対象 子育てに不安を抱える1歳未満の親子(40組)	保健サービス課(浅草保健相談センター)
				・子育てを支援するネットワークシステムの構築	おやこサポート・ネットワーク	関係機関とのネットワーク会議(1回) 区内外の産科医療機関及び助産所等を対象に開催	関係機関とのネットワーク会議(1回) 区内外の産科医療機関及び助産所等を対象に開催	保健サービス課(浅草保健相談センター)

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課	
(2) 女性の生涯を通じた健康づくり									
			<p>① 女性に特有のがん対策を充実させます。(重点)</p> <p>② 生涯を視野に入れた女性の健康づくりを進めます。</p>	① 生涯を通じた健康づくりのための啓発の推進	・女性のライフステージに応じた健康教育・健康相談の実施	女性のトータルヘルスサポート	リーフレット配布 子宮頸がん検診対象者(20~38歳偶数年齢)に送付 女性の健康週間での普及啓発(3月) 女性のための健康相談(11回)18人 医師によるリモートでの相談対応 未就学児を持つ女性への健診勧奨 公式HP、X、LINE、スマートニュース等での啓発	リーフレット配布 子宮頸がん検診対象者(20~38歳偶数年齢)に送付 女性の健康週間での普及啓発(3月) 女性のための健康相談(12回)医師によるリモートでの相談対応 未就学児を持つ女性への健診勧奨 公式HP、X、LINE、スマートニュース等での啓発の充実	保健サービス課
					・若い女性に対する適正な体重の維持についての啓発	食生活支援	栄養情報リーフレット送付(4月) 子宮頸がん検診対象者(20~38歳偶数年齢) 約14,600人 女性の健康週間での資料配布(3月)	栄養情報リーフレット配布 子宮頸がん検診対象者(20~38歳偶数年齢)に送付 女性の健康週間での普及啓発(3月)	保健サービス課
					・カルシウム、鉄、葉酸など、女性に必要な栄養素についての知識の普及啓発				
					・飲酒及び喫煙の健康への影響についての普及啓発	女性のトータルヘルスサポート	リーフレット配布 子宮頸がん検診対象者(20~38歳偶数年齢)に送付 女性の健康週間での普及啓発(3月) 女性のための健康相談(11回)18人 医師によるリモートでの相談対応 未就学児を持つ女性への健診勧奨 公式HP、X、LINE、スマートニュース等での啓発の充実	リーフレット配布 子宮頸がん検診対象者(20~38歳偶数年齢)に送付 女性の健康週間での普及啓発(3月) 女性のための健康相談(12回)医師によるリモートでの相談対応 未就学児を持つ女性への健診勧奨 公式HP、X、LINE、スマートニュース等での啓発の充実	保健サービス課
				② 女性に特有の疾病等への対策	・乳がん、子宮頸がんに関する知識の普及、予防啓発	女性のトータルヘルスサポート	キャンペーンの実施 乳がん予防月間キャンペーン(10月) 女性の健康週間キャンペーン(3月) プレスト・アウェアネス啓発媒体配布 プレスト・アウェアネスリーフレット配布 3835枚 講座実施 37回 471人	キャンペーンの実施 乳がん予防月間キャンペーン(10月) 女性の健康週間でのキャンペーン(3月) プレスト・アウェアネス啓発媒体配布 プレスト・アウェアネスリーフレット配布 ミニ講座の実施	保健サービス課
					・健康診断受診の必要性の周知	総合健康診査 健診を受けようキャンペーン	・受診案内に、健診の重要性についてのコラムを掲載 ・健診を受けようキャンペーンの実施 場所 リバーサイドスポーツセンター 8月19日:スポーツの祭典【パラリンピック編】 10月9日:スポーツの祭典【オリンピック編】の中でそれぞれ実施	・受診案内に、健診の重要性についてのコラムを掲載 ・健診を受けようキャンペーンの実施 場所 リバーサイドスポーツセンター 10月:スポーツの祭典【オリンピック・パラリンピック編】にて実施	保健サービス課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
				・女性特有の疾病についての健康教育、健康相談の実施	女性のトータルヘルスサポート	<ul style="list-style-type: none"> ●女性のための健康相談： <ul style="list-style-type: none"> ・年11回実施(月1回4枠・予約制) 18人 ※保健所と医師をオンラインで繋いで実施。 ※11月は、予約はあったが、当日、連絡なく未来所であった。 ・女性医師(産婦人科医師)による健康相談 ・対象者：区内在住、在勤の女性 ・周知方法：広報・ホームページ・メルマガ、X等 ●リーフレットの配布(情報コーナーでの展示やキャンペーン時の配布) ●講座の実施。37回 471人 	<ul style="list-style-type: none"> ●女性のための健康相談(12回)医師によるリモートでの相談対応 ・対象者：区内在住、在勤、在学の女性 ●リーフレットの配布(情報コーナーでの展示やキャンペーン時の配布) ●講座の実施 	保健サービス課

(3) 働き盛り(働く世代)の人の健康づくり

<p>① メタボリックシンドローム、BMI25以上の割合を減らします。(重点)</p> <p>② 適切な量と質の食事をとる人を増やします。</p> <p>③ 日頃から運動する人を増やします。</p>	<p>① 働き盛りの男性の健診受診率向上と健康相談の取り組み</p>	・総合健康診査受診票発送時の受診勧奨、健康講座等情報の発信	総合健康診査健診を受けようキャンペーン	受診勧奨通知の送付(5月、7月、9月) がん検診対象者への受診案内を送付 121,959人 健康講座等情報の発信 受診案内に、健診の重要性についてのコラムを掲載し、また、心の健康相談事業の案内を同封	受診勧奨通知の送付(5月、7月、9月) がん検診対象者への受診案内を送付 健康講座等情報の発信 受診案内に、健診の重要性についてのコラムを掲載し、また、心の健康相談事業の案内を同封	保健サービス課
		・健康相談、こころの健康相談の実施	健康総合相談	生活習慣に関する相談(随時) 所内面接、電話相談等 18,821件 家庭訪問による健康相談 2,483件	生活習慣に関する相談(随時) 所内面接、電話相談等 家庭訪問による健康相談	保健サービス課
			精神保健福祉相談等	精神保健福祉相談(こころの健康相談) 回数 51回 場所 台東保健所、浅草保健相談センター	精神保健福祉相談(こころの健康相談) 回数 41回 場所 台東保健所、浅草保健相談センター	保健予防課
		・歯科基本健康診査の受診勧奨及び糖尿病と歯周病の関係の周知	歯科基本健康診査	歯科基本健康診査(通年) 国の歯周病健診マニュアルに基づいた健診の実施 30・35・40～55・60・65・70・75・80・85歳の区民 6,455人	歯科基本健康診査(通年/20歳は10月から3月) 国の歯周病健診マニュアルに基づいた健診の実施 20・30・35・40～55・60・65・70・75・80・85歳の区民	保健サービス課
		・健診や健康づくり情報のメールマガジンの配信	たいとうヘルスケアニュース	たいとうメールマガジン「たいとうヘルスケアニュース」配信 主に金曜日(月2～6回)48回	たいとうメールマガジン「たいとうヘルスケアニュース」配信 主に金曜日(月2～5回)43回	保健サービス課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課	
			② 身近でできる気軽な運動への取り組み	・身近でできる運動や健康体操についての情報発信	スポーツ推進委員	区のスポーツ行事への協力や各種スポーツ教室、イベント等の企画・運営、助言などを通じ、区民への生涯スポーツの普及・振興や、スポーツの楽しさを伝えるコーディネーターとして活動している。 主な活動 体カテスト(6月・11月)	区のスポーツ行事への協力や各種スポーツ教室、イベント等の企画・運営、助言などを通じ、区民への生涯スポーツの普及・振興や、スポーツの楽しさを伝えるコーディネーターとして活動している。 主な活動 体カテスト(6月・11月)	スポーツ振興課	
					体育の日記念行事	事業廃止	事業廃止	事業廃止	スポーツ振興課
					スポーツの祭典	アスリートを招聘し、オリンピック・パラリンピック競技種目をはじめとする様々なスポーツを体験できるスポーツイベントを開催し、東京2020大会のレガシーを継承する。 〔パラリンピック編〕 参加者数:169人 【実施日】8月19日(土) 【場所】台東リバーサイドスポーツセンター 〔オリンピック編〕 参加者数:1,752人 【実施日】10月9日(祝) 【場所】台東リバーサイドスポーツセンター・清島温水プール	〔パリ2024オリンピック・パラリンピック大会編〕 パリ2024オリンピック、パラリンピック大会への気運醸成を図るとともに、本大会に出場する本区の区民アスリートを激励する。 【実施日】 6月13日(木) 【場所】 台東区生涯学習センターミレニアムホール 〔オリンピック・パラリンピック編〕 アスリートを招聘し、オリンピック・パラリンピック競技種目をはじめとする様々なスポーツを体験できるスポーツイベントを開催し、東京2020大会のレガシーを継承する。 【実施日】 10月14日(祝) 【場所】 台東リバーサイドスポーツセンター	スポーツ振興課	
					総合型地域スポーツクラブ	日常的なスポーツの場として、地域の人々が主体となり運営する総合型地域スポーツクラブの活動を支援するため、たなかクラブ普及啓発事業を実施する。 スポーツ体験会等(4回、85人)	日常的なスポーツの場として、地域の人々が主体となり運営する総合型地域スポーツクラブの活動を支援するため、たなかクラブ普及啓発事業を実施する。 スポーツ体験会等 計4回実施予定	日常的なスポーツの場として、地域の人々が主体となり運営する総合型地域スポーツクラブの活動を支援するため、たなかクラブ普及啓発事業を実施する。 スポーツ体験会等 計4回実施予定	スポーツ振興課
					たいとうやまびこ塾	令和2年度をもって事業終了			生涯学習課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
				・区内ウォーキングマップの作成、区内運動施設及び運動教室等の情報提供	健康づくり啓発推進	隔年作成のため作成せず (次回作成予定:令和6年度)	ウォーキングマップの作成(8,500部) 健康推進委員推薦のウォーキングコースを掲載 配布場所 区役所、台東保健所、区民事務所等	保健サービス課
			台東区スポーツガイドマップ		区内のスポーツ施設や運動ができる場所、また、スポーツイベントなどスポーツに関する情報をわかりやすく提供し、区民がいつでもスポーツに親しむことができるように活用してもらう。 発行:令和6年2月	発行なし(隔年発行)	スポーツ振興課	
			スポーツひろば		区民が身近な場所でスポーツを始めるきっかけの場として、区立小中学校の一部を学校教育に支障のない範囲で開放すると共に、オンラインスポーツ教室を実施する。 区立小中学校 10校(5,984人) オンライン 12回(41人)	区民が身近な場所でスポーツを始めるきっかけの場として、区立小中学校の一部を学校教育に支障のない範囲で開放すると共に、オンラインスポーツ教室を実施する。 区立小中学校 10校 オンライン 12回	スポーツ振興課	
			障スポチャレンジ		区民が身近な場所で障害者スポーツを始めるきっかけを作るため、区立スポーツ施設等において誰でも気軽に障害者スポーツに参加できる機会を提供する。 種目 パラバレーボール(座位) 場所 たなかスポーツプラザ 回数 35回(312人) 種目 ボッチャ 場所 田原小学校 及び 大正小学校 回数 23回(207人)	区民が身近な場所で障害者スポーツを始めるきっかけを作るため、区立スポーツ施設等において誰でも気軽に障害者スポーツに参加できる機会を提供する。 種目 パラバレーボール(座位) 場所 たなかスポーツプラザ 回数 29回 種目 ボッチャ 場所 田原小学校 及び 大正小学校 回数 35回	スポーツ振興課	
			③ 生活習慣病を予防するための取り組み	・出前講座、栄養相談の充実	食生活支援	栄養相談 36回(延104人) 栄養出前講座 年5回86人	栄養相談 36回 栄養出前講座 随時	保健サービス課
				・適正飲酒についての情報発信	健康総合相談	健康増進普及月間キャンペーン(9月) 生涯学習センター他4か所でパネル展示 (配布資料2,037件)	健康増進普及月間キャンペーン(9月) 生涯学習センター他4か所でパネル展示	保健サービス課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課	
(4) 高齢者の健康づくり									
			高齢者の社会参加を促す地域社会づくりを目指します。	① 個人での自主的な健康づくりの推進	・健康増進センター等での運動器の機能向上や転倒予防に資する教室の実施	生活機能向上重点プログラム	介護予防・生活支援サービス事業として、運動器機能向上、口腔機能向上、栄養改善を一体的に行う複合型プログラム及び転倒予防の個別指導を実施。 対象 要支援認定者及び事業対象者 内容 複合型プログラム(水中運動教室) 5月・9月開始 全4人 (新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、募集定員を10名から5名に減らして実施) 転倒予防(個別指導) 全3人参加 (延べ51人)	介護予防・生活支援サービス事業として、運動器機能向上、口腔機能向上、栄養改善を一体的に行う複合型プログラム及び転倒予防の個別指導を実施。 対象 要支援認定者及び事業対象者 内容 複合型プログラム(水中運動) 4・9・12月開始 1教室24回 転倒予防(個別指導) 通年 1人につき最大24回	高齢福祉課
					高齢者はつらつトレーニング	トレーニングマシンを使った運動教室 高齢者はつらつトレーニング 区民館(区内6か所) 10回1クールとして2クール(計120回)実施 上野健康増進センター 10回1クールとして4クール(計40回)実施 千束健康増進センター 10回1クールとして8クール(計79回)実施(※) ※台風の影響により1回中止	トレーニングマシンを使った運動教室 高齢者はつらつトレーニング 週1回(全10回) 区民館(区内7か所) 10回1クールとして2クール実施 上野健康増進センター 10回1クールとして4クール実施 千束健康増進センター 10回1クールとして8クール実施	高齢福祉課	
					高齢者の健康づくり	・ふれあい介護予防教室 区民館等の地域の身近な会場で転倒予防体操や健康ミニ講座、交流等を実施 7会場(73回)※熱中症警戒アラートおよび大雨警報発令により4回減 オンライン会場(12回) 高齢者の健康づくり教室 尿もれ予防教室(1回) 高齢者向け教室(12回) 大人の元気度チェック(4回) オンライン教室(6回) フレイル予防教室(1回) うんどう教室 山谷堀公園で健康遊具を活用したうんどう教室を実施 体力測定会(1回)、うんどう教室(22回)※熱中症警戒アラート発令のため1回減	ふれあい介護予防教室 区民館等の地域の身近な会場で転倒予防体操や健康ミニ講座、交流等を実施 7会場(84回) 高齢者の健康づくり教室 尿もれ予防教室(1回) 男性高齢者向け教室(12回) 大人の元気度チェック(8回) フレイル予防教室(1回) うんどう教室 山谷堀公園で健康遊具を活用したうんどう教室を実施 体力測定会1回、うんどう教室23回	高齢福祉課	

各 論 目 録	細 目	目 標	具 体 的 な 取 り 組 み	実 施 事 業 名	令 和 5 年 度 実 績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令 和 6 年 度 予 定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担 当 課
			・低栄養予防、口腔機能の維持のための普及啓発	高齢者の健康づくり	ふれあい介護予防教室での健康ミニ講座の実施(区内7会場+オンライン会場) 低栄養予防 8会場(8回) 口腔ケア 8会場(6回)※熱中症警戒アラート発令のため2回減	ふれあい介護予防教室での健康ミニ講座の実施 低栄養予防 7会場(7回) 口腔ケア 7会場(7回)	高齢福祉課
			・栄養相談や出前講座の実施	食生活支援	栄養相談 36回(延104人) 栄養出前講座 年5回86人	栄養相談 36回 栄養出前講座 随時	保健サービス課
			・普及啓発誌の発行・配布	介護予防啓発	介護予防啓発に関するイベント情報など掲載した冊子の配布 6,000部 介護予防啓発広報紙の発行(2回) 各42,000部 介護予防リーフレットの発行 2,000部 介護予防DVDの配布 774枚 CATV介護予防啓発番組の制作・放映 2番組 ・自宅でも介護予防活動に取り組めるよう介護予防DVDを作成し、配布を行った。	介護予防啓発に関するイベント情報など掲載した冊子の配布 6,000部 介護予防啓発紙の発行(2回) 各42,000部 介護予防リーフレットの発行 2,000部 介護予防DVDの配布 CATV介護予防番組の制作・放映 1番組	高齢福祉課
			・総合健診や歯科基本健康診査の実施と受診勧奨	総合健康診査 健診を受けようキャンペーン	総合健康診査(6~1月) 健康増進法に基づいた健康診査 23,611人 対象 40歳以上の国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入者、生活保護受給者 歯科基本健康診査(通年) 国の歯周病検診マニュアルに基づいた健診 6,455人 対象 30、35、40~55、60、65、70、75、80、85歳の区民	総合健康診査(6~1月) 健康増進法に基づいた健康診査 対象 40歳以上の国民健康保険及び後期高齢者医療制度加入者、生活保護受給者 歯科基本健康診査(通年/20歳は10月から3月) 国の歯周病検診マニュアルに基づいた健診 対象 20、30、35、40~55、60、65、70、75、80、85歳の区民	保健サービス課
			・ICTを活用した高齢者の主体的な介護予防活動支援	ICTを活用した介護予防活動支援	令和6年度新規事業のため実績なし	スマホアプリを活用した運動習慣化の為にオンライングループの立ち上げ支援、および活動サポートを行い、仲間との交流による高齢者の運動習慣の定着を図る。 スマホアプリを活用したオンライングループ立ち上げ支援の講座(8回)	高齢福祉課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			(4)高齢者の健康づくり) (高齢者の社会参加を促す地域社会づくりを目指します。)		高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施	<p>○高齢者の保健事業と介護予防の一体的実施に係る協議会 1回(5.12.15) 委員構成(学識経験者、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター等)</p> <p>○ハイリスクアプローチ 「低栄養防止事業」(保健サービス課) 健康診査の結果から、低栄養のおそれのある後期高齢者に対して、管理栄養士が個別面談(1人2回)及び電話相談(1人1回)を実施。 参加者 17人</p> <p>「糖尿病重症化予防事業」(国民健康保険課) 後期高齢者加入者で総合健康診査の結果、ヘモグロビンA1c8.0以上の対象者に保健師等の医療専門職が個別面談(1人4回)を実施。新型コロナウイルス感染症対策のため、ICT面接にも対応できる体制としている。 対象者 75人 申込者 4人 保健指導 延べ 3回</p> <p>○ポピュレーションアプローチ(KDBのデータを関連する介護予防事業に活用) (高齢福祉課) ・ふれあい介護予防教室 区民館等の地域の身近な会場で転倒予防体操や健康ミニ講座、交流等を実施 7会場(73回)、オンライン会場(12回) ・高齢者の健康づくり教室 ・尿もれ予防教室(1回) ・高齢者向け教室(12回) ・大人の元気度チェック(4回) ・オンライン教室(6回) ・フレイル予防教室(1回) ・体力測定会(1回)、うんどう教室(22回) ・介護予防啓発に関するイベント情報など掲載した冊子の配布 6,000部 ・介護予防啓発広報紙の発行(2回) 各42,000部 ・介護予防リーフレットの発行 2,000部 ・介護予防DVDの配布 774枚 ・CATV介護予防啓発番組の制作・放映 2番組</p>	<p>○高齢者の保健事業と介護予防の一体的な実施に係る協議会の開催 1回 委員構成(学識経験者、医師、歯科医師、薬剤師、訪問看護師、ケアマネジャー、地域包括支援センター等)</p> <p>○ハイリスクアプローチ 「低栄養防止事業」 健康診査の結果から、低栄養のおそれのある後期高齢者に対して、管理栄養士が個別面談(1人2回)及び電話相談(1人1回)を実施。</p> <p>「糖尿病重症化予防事業」 後期高齢者加入者で総合健康診査の結果、ヘモグロビンA1c8.0以上の対象者に保健師等の医療専門職が個別面談(1人4回)を実施。 対象者(予定) 238人</p> <p>○ポピュレーションアプローチ(KDBのデータを関連する介護予防事業に活用) 通いの場等において、フレイル予防などの健康教育・健康相談を実施。また、フレイル状態にある高齢者に対し、保健指導や生活機能向上に向けた支援等を実施する他、高齢者の健康に関する相談や不安等について気軽に相談が行える環境づくりを行う。 ※事業内容は各欄参照:「高齢者の健康づくり」、「介護予防啓発」、「地域による介護予防活動への支援」</p>	健康課 国民健康 保険課 保健サー ビス課 高齢福祉 課

各論	項目	細目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			② 地域で 支え合う健康づくりの 推進	・体操などを地域に普及していくボランティアの育成・支援	地域による 介護予防 活動への 支援	・ころばぬ先の健康体操サポーター養成 養成講座(26回) ・フレイルサポーター養成 養成講座(1回)	ころばぬ先の健康体操サポーター養成 介護予防のための転倒予防体操等を区内に広めることを目的とした区民ボランティアを養成する 登録者講座(5回)、養成講座(随時) フレイルサポーター養成 養成講座(1回)	高齢福祉課
				・自主活動グループの 育成・支援	地域による 介護予防 活動への 支援	住民主体の通いの場づくり 新規立ち上げ支援、グループへの出前講座を実施。また 感染予防対策として、衛生用品の配布を行った。 グループ支援(14回)、交流会(1回)、衛生用品配布(3 回) 通いの場活動団体助成 介護予防に資する活動を行う区内団体に対する活動費 等の補助(1団体) 通いの場登録団体 61団体	住民主体の通いの場づくり 新規立ち上げ支援、グループへの出前講座の実施 グループ支援(随時) 通いの場活動団体助成 介護予防に資する活動を行う区内団体に対する活動費 等の補助(4団体)	高齢福祉課
				・シニアクラブ(老人ク ラブ)活動の支援	シニアク ラブ活動支 援	単位クラブ助成 92クラブ 園芸教室開催 4月28日・9月29日(28花壇) 輪投げ大会開催 12月6日 広報紙「朗友」の発行 2回(8月・1月) 功績者感謝状贈呈 26人 健康教室事業助成 台東区シニアクラブ連合会実施の健康講演会・ 軽スポーツ講習会への助成	社会奉仕活動、生きがいを高める活動、健康を進める活 動などを行う地域で自主的に組織されたシニアクラブ (老人クラブ)に対し、運営費を助成するなどその活動を 支援し、高齢者福祉の向上をはかる。 単位クラブ助成 93クラブ(見込) 園芸教室開催 2回(4月・9月) 輪投げ大会開催 1回(12月) 広報紙「朗友」の発行 2回(8月・1月) 功績者感謝状贈呈 25人(見込) 健康教室事業助成 台東区シニアクラブ連合会実施の健康講演会・ 軽スポーツ講習会への助成	健康課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			③ 地域におけるネットワークづくり	・高齢者地域見守りネットワーク	高齢者地域見守りネットワーク	見守りネットワーク連絡会の開催 全体会(1回)、地区連絡会(14回) 季刊誌「高齢者地域見守りネットワーク通信」の発行(4回)	見守りネットワーク連絡会の開催 全体会(1回)、地区連絡会(14回) 季刊誌「高齢者地域見守りネットワーク通信」の発行(4回)	高齢福祉課
		・認知症サポーターの養成及び活動支援		認知症高齢者支援の推進	認知症高齢者専門相談(17回) 認知症高齢者の家族に対する介護・こころのケア相談(13回) 認知症カフェ(37回) 認知症講演会(4回) 認知症サポーター養成講座(631人) (区が主催する認知症サポーター養成講座5回のうち、1回をオンラインで実施) 簡易認知機能スケール実施(40人)	認知症高齢者専門相談(15回) 認知症高齢者の家族に対する介護・こころのケア相談(20回) 認知症カフェ(30回) 認知症講演会(4回) 認知症サポーター養成講座(550人) 簡易認知機能スケール実施(60人)	高齢福祉課	
				シニアクラブ活動支援	東京都老人クラブ連合会主催の「認知症予防講座」の周知等	東京都老人クラブ連合会主催の「認知症予防講座」の周知等	健康課	
				・認知症地域支援推進員の配置	認知症総合支援	認知症地域支援推進員 各地域包括支援センターに配置 7人	認知症地域支援推進員 各地域包括支援センターに配置 7人	高齢福祉課

各 論 目 録	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
II. 地域保健の着実な展開						
1. 感染症対策の充実						
<p>① 結核罹患率を減少させるため、効果的な検診や患者の療養支援の充実を図ります。(重点)</p> <p>② 感染症の発生予防とまん延防止を図ります。</p>	① 結核対策の強化	・住所不定者や日本語学校に対する結核検診の継続的实施(重点地区結核対策)	結核重点対象者対策	早朝検診 2回(47名) 路上生活者検診(上野公園) 2回(67名) 日本語学校検診 9回(1,695名)	早朝検診 2回 路上生活者検診(上野公園) 2回 日本語学校検診 11回	保健予防課
		・デインジャーグループへの知識の普及啓発(施設従事者向け結核対策)	施設従事者向け結核対策	社会福祉施設職員向け講演会 1回(31名) 医療従事者向け講演会 1回(35名)	教育関係者、医療従事者向けの講演会(2回)	保健予防課
		・接触者健診等による感染者や発病者の早期発見・早期治療による感染拡大防止	接触者健診	結核患者の家族や同僚等への健診を実施 健診対象者 延382人	結核患者の家族や同僚等に対し健診を実施し、結核の感染拡大防止を図る(随時)	保健予防課
		・潜在性結核感染症を含むすべての結核患者へのDOTSの実施による治療の完遂	DOTS	結核治療をしているほぼ全ての方に対し、服薬支援を実施。 新登録患者※44人のうち43人に対し実施。 来所 19人 訪問 13人 入院 8人 郵送 3人 未実施 1人(死亡) ※潜在性結核感染症含む	治療の失敗や脱落を防止し、結核の再発や薬剤耐性菌の出現を防ぐため、結核治療をしている全ての方に対し、服薬支援を行う(随時)	保健予防課
	② HIV・エイズ感染症及び性感染症対策の充実	・HIV・エイズ及び性感染症の正しい知識の普及啓発と、偏見、差別の克服	エイズ予防キャンペーン	HIV検査普及週間と世界エイズデーに合わせて区広報紙、区ホームページで周知 区内各所にてエイズ予防のパネル展示、資料配布を実施	HIV検査普及週間と世界エイズデーに合わせて区広報紙、区ホームページで周知 区内3ヶ所にてエイズ予防のパネル展示、資料配布を実施	保健予防課
				HIV検査普及週間 台東保健所1階(6月1日～30日) 台東区役所1階(6月1日～30日) 生涯学習センター(6月1日～30日) 世界エイズデー 台東区役所(11月16日～12月8日) 台東保健所1階(11月15日～12月15日) 生涯学習センター(11月15日～12月15日)	HIV検査普及週間・検査相談月間(6月) 生涯学習センター 台東区役所 台東保健所 世界エイズデー・東京都エイズ予防月間(11～12月) 生涯学習センター 台東区役所 台東保健所	
		・若年者に対する性感染症に関する知識の普及・啓発	エイズ講演会	区内の中学・高等学校等に専門の講師を派遣し、エイズ予防講演会を開催 台東区立柏葉中学校 :144人 台東区立忍岡中学校 :88人 台東区立駒形中学校 :87人 台東区立桜橋中学校 :38人 私立上野学園高等学校:143人 台東区立小・中学校養護教諭向け講演会:27人 総計:527人	区内の中学・高等学校等(計10校想定)に専門の講師を派遣し、エイズ・性感染症予防講演会を開催。	保健予防課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
				・保健所におけるHIV抗体迅速検査と梅毒迅速検査(平成29年5月より開始)の実施による検査を受けやすい環境整備	HIV・性感染症抗体検査	HIV・梅毒検査(全26回) ①日程 第2・4水曜日 13:00~14:30 6月21日及び11月29日(レディースデイ) 13:00~14:30 ②実施方法 匿名・無料 ③検査実績 790人 内、レディースデイ(2回)25人	HIV・性感染症検査(全26回) ①日時 第2・4水曜日 13:00~14:30 6月19日 17:30~19:00(レディースデイ) 11月22日 13:00~14:30(レディースデイ) ②実施方法 匿名・無料 ③実施予定 各回40人(年間1,040人)	保健予防課
		③ その他の感染症対策の推進	・社会福祉施設での季節性インフルエンザや感染性胃腸炎(ノロウイルス等)等の感染拡大防止のための施設職員等に対する予防策の周知と情報共有	感染症対策	学習会(1回) 21人 区内の学校や施設等からの依頼に基づき、感染症(感染性胃腸炎、インフルエンザ、結核等)についての学習会を実施 社会福祉施設従事者向けの感染症研修会を実施(1回) 結核に関する知識のほか、冬季に流行する感染症の予防方法や対策についての知識の普及啓発を行った。 また、感染症の流行の兆しがみられる時、区ホームページ等を活用し、情報提供を実施するとともに、必要に応じて、施設・事業所等に対して指導・助言・支援を行った。	区内の学校や施設等からの依頼に基づき、感染症(感染性胃腸炎、インフルエンザ、結核等)についての学習会を実施。 学校・保育園関係者向けの感染症研修会を実施(1回) 感染症や感染症対策に関する知識の普及啓発を目的とした研修会を実施予定。 感染症の流行の兆しがみられる時、区ホームページ等を活用し、情報提供を実施するとともに、必要に応じて、施設・事業所等に対して指導・助言・支援を行う。	保健予防課	
			・広域的な感染症発生時の迅速な調査や拡大防止に向けた東京都等との連携体制の構築	感染症対策	国や東京都主催の感染症に関するWeb会議へ参加 東京都の会議体や都実施の研修等に参加し、連絡体制を構築	国や東京都主催の感染症に関するWeb会議へ参加するとともに、 東京都実施の研修等に参加し、連携・連絡体制を構築していく	保健予防課	
			・新型インフルエンザ等感染症の発生に備え、国や東京都、関係団体等と連携した健康危機管理体制整備の推進	感染症対策	新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけが5類に変更となる際や通常の医療提供体制への移行に向けて、必要に応じて情報提供を行った。	新興感染症が発生した場合は、必要に応じて医療関係機関への情報提供や連携の強化を図る。	保健予防課	

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
2. 精神保健福祉対策の充実								
精神障害者の地域生活支援の充実を図ります。	① 精神障害者の地域生活を支援するサービスの充実	・社会復帰施設のサービス向上に向けた取り組み	精神障害者障害福祉サービス	随時、障害の種類や程度・サービス利用について、障害福祉サービス事業所との情報共有に努めた。	障害の種類や程度・サービス利用に関する意向等を踏まえ、社会復帰施設とも緊密に連携を図りながら、適切なサービスの提供を行う。	保健予防課		
		・サービス提供事業者とより一層の連携強化	精神障害者障害福祉サービス	精神障害者地域生活支援センターあさがおをはじめとする計画相談事業所との定期的な意見交換を実施した。	サービス提供事業者との意見交換や会議等を通じて、常に緊密な連携を図っていく。	保健予防課		
	② 相談体制の充実	・各専門機関等と連携した成人期の発達障害と高次脳機能障害の相談の充実	精神保健福祉相談等	大人の発達障害の相談(34回) 台東保健所で相談受付 高次脳機能障害の相談(随時) 電話等による相談	大人の発達障害の相談(35回) 台東保健所で相談受付 高次脳機能障害の相談 電話等による相談(随時)	保健予防課		
	③ 障害者差別解消法への対応	・差別に関する随時相談の実施	精神保健福祉相談等	障害者差別解消法に関する通報 1件あり	随時、障害者に対する不当な差別的取扱いや合理的配慮の不提供などに関する相談を実施。	保健予防課		
		・各関係機関と連携した周知・啓発の取り組み	精神保健福祉相談等	随時、窓口等にチラシの設置や事業等でチラシを配布した。	障害福祉課などとも連携し、様々な手法で障害者差別の解消に向けて周知・啓発を行い、障害者に対して合理的配慮が提供されるようにする。	保健予防課		
	3. 難病患者への支援							
医療費助成制度等を活用し、療養の質の向上を図ります。	① 医療費助成制度、福祉制度等の周知	・難病に関する啓発の推進	難病患者等支援	利用できるサービスや制度について、区広報紙や区ホームページなどで周知を行った。	利用できるサービスや制度について、区広報紙や区ホームページなどで周知を行う。	保健予防課		
		・医療費助成制度や難病患者福祉手当及び障害者総合支援法に基づく障害福祉サービスに関する周知の充実	難病患者等支援	申請手続き来所した相談希望者に対し保健師が面接を実施し、患者の生活状況を把握することにより、患者支援に役立てるよう努めた。 面接 延12件	申請手続き来所した相談希望者に対し保健師が面接を行い、患者の生活状況を把握することにより、患者支援に役立てるよう努める。	保健予防課		
	② 相談体制の充実	・在宅難病患者に対する各種サービスに関する相談の実施	難病患者等支援	随時、窓口による相談の受付	障害の種類や程度、介護者、居住状況、サービス利用に関する意向等を踏まえながら、各種サービスに関する相談を実施	保健予防課		
		・関係機関と連携し、保健・医療・福祉の総合的なサービス相談体制を構築	難病患者等支援	難病対策地域協議会 令和6年3月18日(月)13:30~14:30 難病患者への支援の現状把握や情報交換 対象者:医師及び関係機関	難病の患者への支援体制の整備を図るため、難病対策地域協議会を開催し、地域の実情に応じた支援策を検討する。	保健予防課		
	③ 難病患者の災害時支援	・難病患者等の特性に応じた災害時要援護者対策の検討	難病患者等支援	随時、在宅人工呼吸器使用者の把握に努め、災害時個別支援計画を作成した。	難病対策地域協議会なども活用し、個々の患者の特性に応じた災害時要援護者対策について検討する。	保健予防課		

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
4. ぜん息患者等への支援								
ぜん息知識の普及とぜん息の予防を図ります。	① 国の認定患者に対する保健福祉施策の充実	・療養の給付及び療養費、障害補償費、遺族補償費、遺族補償一時金、療養手当、葬祭料の給付等の補償給付	補償給付等	公害健康被害認定審査会 12回 公害健康被害診療報酬審査会 12回		法による既被認定者に対して各補償給付を支給する。また、認定審査会を開催し、認定疾病の更新と障害の程度の見直しを行う。 公害健康被害認定審査会 12回 公害健康被害診療報酬審査会 12回	保健予防課	
		・健康回復、保持及び増進のための講演会や機能回復訓練指導等のリハビリテーション事業の実施	リハビリテーション、家庭療養指導	令和2年度をもって事業廃止			保健予防課	
	② 保健指導と相談機能の充実	・専門医、看護師による相談や健康教室等健康相談事業の開催	健康相談	令和4年度をもって事業廃止		令和4年度をもって事業廃止	保健予防課	
		・窓口や乳幼児健診時等における保健指導の実施	乳幼児健診	乳幼児健診で保健指導を実施するとともに、専門医等の健康相談への連携を図る。	乳幼児健診で保健指導を実施するとともに、専門医等の健康相談への連携を図る。		保健サービス課(浅草保健相談センター)	
	③ 予防事業(機能訓練事業)の充実	・ぜん息知識の普及や対処方法を習得するための講座の開催	健康相談	令和4年度をもって事業廃止		令和4年度をもって事業廃止	保健予防課	
		・運動量の増加と精神力の向上を図り、ぜん息を克服するための水泳教室の開催	水泳訓練教室	令和5年度をもって事業廃止		令和5年度をもって事業廃止	保健予防課	

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)		令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)		担当課
Ⅲ. 安全・安心な生活環境の確保								
1. 健康危機管理体制の推進								
健康危機の発生に対する備えを充実させるとともに、関係機関との連携を強化していきます。	① 健康危機管理体制	・健康危機管理関係の計画・マニュアル等の運用・充実	健康危機管理体制整備		「台東区健康危機対処計画(感染症編)」を策定した。	「健康危機対処計画(感染症編)・感染症予防計画」の運用と内容の検討を行う。 また「新型インフルエンザ等対策行動計画」の改訂作業を行う。	生活衛生課	
		・新型インフルエンザ等対策特別措置法を踏まえた体制整備の推進	健康危機管理体制整備		台東区健康危機管理連絡協議会において、区内病院及び両医師会と連携を図り、医療提供体制の確保に努めた。	区内病院及び両医師会と連携し、引き続き医療提供体制の確保に努める。	生活衛生課	
		・医療機関と連携した模擬訓練の実施	新興感染症等対策		個人防護具の着脱訓練及び腸管出血性大腸菌の大規模発生訓練を実施(2回)	模擬訓練の実施(2回)	生活衛生課	
	② 健康危機に対する連携体制	・健康危機管理連絡協議会による健康危機に関する連携強化	健康危機管理体制整備		健康危機管理連絡協議会を開催(1月25日) 内容 新型コロナウイルス感染症への対策と今後の課題等	健康危機管理連絡協議会の開催	生活衛生課	
	③ 健康危機に関する啓発活動	・健康危機に対する日常の備えや予防対策などについての普及啓発	新興感染症等対策		区広報紙、ホームページ等により、基本的な感染予防対策や感染した時の対応等について周知・啓発を実施。	必要に応じて区広報紙、ホームページ等により、感染予防対策や感染した時の対応等について周知・啓発を行う。	保健予防課	
	2. 食品衛生の推進							
食品の安全を確保します。	① 監視指導の実施	・食品取扱施設の衛生水準向上のための支援・指導の実施	食品衛生監視指導		重点監視施設一斉監視 25回	台東区食品衛生監視指導計画に基づき、統計的に食中毒の発生が多い業種に一斉監視指導を実施する。【回数】重点監視施設一斉監視 25回	生活衛生課	
		・食中毒の発生状況や発生時期等を考慮した効果的な監視指導の実施	食品衛生監視指導		食品営業施設 12,059軒	台東区食品衛生監視指導計画に基づく監視指導を実施【対象施設】(食品営業施設) 12,059軒	生活衛生課	

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			② 営業者の自主的な衛生管理	・台東区食品衛生自主管理推進店の登録促進	食品衛生監視指導	(HACCP制度化に伴い令和2年度事業廃止)		生活衛生課
				・食品衛生推進員による活動や食品衛生自治指導員による巡回指導等を通じた自主的な衛生管理に関する情報や技術の提供	食品衛生監視指導	事業者対象講習会 45回	食品等事業者に対し、食品衛生自主管理点検表等を繰り返し配布し、衛生意識向上と記録の習慣化を目指す。 事業者対象講習会 40回	生活衛生課
				・国内のHACCP制度化の周知や、HACCP導入に向けた技術的支援の推進(HACCP:危害分析・重要管理点方式)	食品衛生監視指導	事業者対象講習会 45回	HACCP制度化の周知や、導入に向けた支援を推進 事業者対象講習会 40回	生活衛生課
			③ 情報提供と意見交流	・区民や食品等事業者への区広報紙、区ホームページ、メールマガジン等での情報提供	食品安全情報の提供	区広報紙、区ホームページ掲載 4回 たいとう食の安全通信(メールマガジン) 13回 たいとうケーブルテレビ放映 2回	食品による健康被害の発生を防ぐため、食品安全情報を区民及び食品等事業者へ提供(メールマガジン12回、ホームページ掲載2回)	生活衛生課
				・各種食品衛生講習会の実施	食品安全情報の提供	事業者対象講習会 45回 消費者対象講習会 29回 新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止のため、児童館での講習を中止した。	食品による健康被害の発生を防ぐため、食品安全情報を区民及び食品等事業者への提供 (事業者対象講習会 40回 消費者対象講習会 40回)	生活衛生課
				・区民、食品等事業者、行政担当者が参加する意見交換会の実施によるリスクコミュニケーションの推進	食品安全情報の提供	意見交換会 3回	消費者・食品等事業者・行政間で食品安全確保に関する情報及び意見交換を行う。 意見交換会 3回	生活衛生課
				・小学生向け食の衛生教室の実施	食品安全情報の提供	食中毒予防の講義 2回	食中毒予防の講義 子供たちの食品衛生に対する意識を高める 対象 区内小学生 食中毒予防の講義 2回	生活衛生課
				・街頭相談所の開設	食品安全情報の提供	街頭相談所はパネル展示を実施。 展示 6回	食中毒等の発生しやすい時期に相談所を開設し、食品衛生に関する知識の普及啓発に努める。 対象 一般消費者等(6回)	生活衛生課
				・食品に関する苦情や相談への対応	食品安全情報の提供	苦情処理 188件	区民から寄せられた食品などの苦情に対し、原因究明を実施する。原因食品を扱った事業者には、再発防止のための改善指導を行う。	生活衛生課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
3. 環境衛生の推進								
生活衛生関係施設の衛生を確保し、健康で快適な居住環境の向上を図ります。	① 生活衛生関係施設等の監視指導	環境衛生監視指導	・理化学検査の結果等に基づいた効率的で効果的な重点監視指導の実施	環境衛生監視指導	衛生監視指導(通年) 監視指導数 1,024件	監視指導に理化学検査を用い、効率的で効果的な監視指導を実施し、施設の環境衛生の向上を図る。(通年) 監視指導数 1,200件	生活衛生課	
			・営業者への自主管理活動の促進	環境衛生監視指導	講習会開催数 11回	自治指導員制度を活用して、連携して自主管理活動を推進していく。 講習会(10回)を通じて各施設の自主管理を促す。	生活衛生課	
			・レジオネラ属菌による感染症発生防止のための衛生管理の徹底	環境衛生監視指導	検査した浴槽等の数 延92件	重点監視の実施 循環式の浴槽を設置する普通公衆浴場(銭湯)、サウナ、旅館等について、定期的に監視を実施する。 時期 夏季・冬季 対象 旅館等の浴槽等(55件)	生活衛生課	
			・建築物衛生法該当施設の維持管理に関する正しい知識の普及や衛生指導の実施	環境衛生監視指導	講習会は北区・文京区・荒川区との4区が合同で荒川区サンパール荒川大ホールにて開催 講習会参加者 49名 立入検査施設数 49件	書類審査や室内環境測定を行うとともに、建築確認申請時における事前審査を行うことにより、ビルの環境衛生の向上を図る。 ・講習会実施時期 秋季 ・立入検査実施時期 夏季・冬季(50件)	生活衛生課	
	② 住居衛生の向上	快適室内環境づくり	・新築時の集合住宅等における事前協議等の指導の実施	事前協議件数 68件 事前協議指摘事項の改善率 100%	新築住宅等建築時に、健康で快適な生活環境確保のため建築物の事前指導を実施する。 対象 敷地300㎡以上の建物または15戸以上の集合住宅	生活衛生課		
			・既存住宅における室内環境相談の実施	住まいの室内環境相談回数 217回	既存住宅におけるダニ・カビ・結露、換気不良、赤水などの室内環境相談を実施し、住まい方等のアドバイス等を行い、健康で快適な室内環境づくりを目指す。 住まいの室内環境相談 200回	生活衛生課		
			・区民のニーズに沿ったダニ、カビ、結露等の室内環境診断の実施	訪問調査及びダニ検査キットの郵送により実施 室内環境診断件数 44件	室内環境診断として、室内のダニ等の調査や室内空気環境を測定し、住まい方の改善指導を実施し、健康で快適な室内環境づくりを目指す。乳幼児健診等を利用し、子育て世代をターゲットにしたPRを進め、診断件数の増加を図る。 室内環境診断 35件	生活衛生課		
	③ 衛生害虫の防除対策等	ねずみ・衛生害虫防除	・薬剤に頼らない環境対策(発生源対策)による防除対策の推進	ねずみ防除用粘着シート配布数 173枚 殺そ剤配布数 15袋	衛生害虫対策 水回り対策やゴミ対策などの環境対策(発生源対策)を中心とし、薬剤の使用を極力控えた対策を推進する。 ねずみ対策 効果的で事故の起こりにくい防除方法を指導することで発生を防止する。また、繁華街における屋外ねずみ対策を実施する。	生活衛生課		

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
		・蚊媒介感染症(デング熱等)を予防するための蚊防除対策の強化	ねずみ・衛生害虫防除	公園霊園等の蚊の発生状況調査 延481件 蚊の発生状況調査と昆虫成長制御剤投入 ・区立公園及び周辺雨水ます(約3,000ヶ所) ・区道雨水ます(18,000ヶ所) ・谷中霊園	委託業者による発生源対策(蚊の発生状況調査と昆虫成長制御剤の投入)を実施する。 ・区立公園及び周辺雨水ます(約3,000ヶ所) ・区道雨水ます(18,000ヶ所) ・谷中霊園	生活衛生課
		・情報提供及び保健所窓口の相談業務による防除対策の支援	ねずみ・衛生害虫防除	ねずみ・衛生害虫相談件数 358件	区広報紙やホームページにより防除対策についての情報提供を実施し、窓口や電話による相談業務により、防除対策について支援を実施する。	生活衛生課
		・感染症媒介蚊のサーベイランスの実施(ウイルス検査、調査、監視等)(平成27年度～)	ねずみ・衛生害虫防除	デングウイルス・ジカウイルス等の検査 ・人おとり法(区内公園(20ヶ所) ・CO2トラップ(区内公園等(5ヶ所) 検査結果:調査場所の全てでウイルス検査陰性	感染症媒介蚊のサーベイランスとして、蚊の種類と数及びデングウイルス・ジカウイルス等の検査を実施する。 ・人おとり法(区内公園(20ヶ所) ・CO2トラップ(区内公園等5ヶ所)	生活衛生課

4. 医務薬事衛生の推進

医療安全を確保する体制の整備を図ります。	① 医療施設の監視指導	・安全な医療体制が確保されているか、有床・人工透析診療所を中心に監視指導を実施(安全管理のための指針の策定、感染予防対策、震災対策等)	医療安全確保体制整備	立入検査施設数 130施設	安全な医療体制が確保されているか医療機関の監視指導を行う。 新規施設等 100施設	生活衛生課
	② 薬局等の監視指導	・医薬品、医療機器の保管管理状況、適正な使用のために必要な情報の提供状況	医薬品等監視指導	高度管理医療機器等販売業・貸与業については、窓口での書類審査による監視指導を実施した。 監視指導件数 薬局 138件(監視率90%) (令和4年度実績:133件、90%) 医薬品店舗販売業 56件(監視率50%) (令和4年度実績:47件、46%) 高度管理医療機器等販売業・貸与業 219件(監視率49%) (令和4年度実績:289件、56%)	医薬品、医療機器が安全に使用、提供される体制を確保し、区民への健康被害の未然防止を図るため、関連施設に対し、監視指導及び情報提供を行う。(通年) 対象施設 薬局 154施設 医薬品店舗販売業 111施設 高度管理医療機器等販売業・貸与業 524施設	生活衛生課
	③ 毒物劇物取扱い事業者の監視指導	・毒物劇物取扱い事業者の社内管理体制の整備状況等についての重点的な監視指導(毒物劇物の盗難紛失等予防措置、貯蔵設備の震災対策、危害防止規定の作成等)	医薬品等監視指導	めっき業者 5年度実績:9件、監視率38% (4年度実績:8件、監視率31%)	毒物劇物が安全に使用、提供される体制を確保し、区民への健康被害の未然防止を図るため、関連施設に対して重点的に監視指導を行う。 実施時期 6月 重点対象施設 毒物劇物業務上取扱者のめっき業者(24施設)	生活衛生課
	④ 患者の声相談窓口	・医療機関との信頼関係の構築を支援するための相談、助言を行う	医療安全確保体制整備	台東区患者の声相談窓口 受付件数 657件 (内訳) 苦情98件、相談308件、案内251件	台東区患者の声相談窓口 医療に関する問題を当事者自身で解決するための助言・関係機関の案内を行う。 実施方法 月・水・金 専任相談員(看護師)による電話相談(約500件)	生活衛生課

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
	⑤ 医師会・ 歯科医師 会・薬剤師 会等との連 携	・東京都や地元の医師 会・歯科医師会・薬剤 師会等との連携・ネット ワーク化	医療安全 確保体制 整備	医療安全推進会議(2月) 内容 患者の声相談窓口実績報告 委員構成 医師会・歯科医師会・薬剤師会代表、 健康推進委員、弁護士会代表等(10人) 医療安全講習会(オンライン) 内容 クレーム対応の新たな視点 ～厄介事を、ビジネス・チャンスに変える～ 視聴回数 1,174回(令和6年4月3日現在)	医療安全推進会議開催(1回) 内容 患者の声相談窓口実績報告 事例報告及び検証と医療機関へのフィード バック 会場 台東保健所 時期 2月 医療安全講習会開催(1回) 対象 区内医療機関従事者	生活衛生課
		・インターネットや区ホーム ページ等を活用した健康 危機情報の迅速な提供	医療安全 確保体制 整備	医療機関等に、医療安全に関する通知等をした件数 37件	国・都からの通知を速やかにホームページにアップして、 医療機関に周知・情報提供をする。	生活衛生課

5. 薬物等乱用対策の充実

薬物乱用の ないまちづく りを推進しま す。	① 薬物乱 用防止に関 する普及啓 発	・「薬物乱用防止ポス ター・標語コンクール」 による青少年に対する 普及啓発	覚せい剤 等乱用防 止啓発活 動	薬物乱用防止ポスター・標語コンクール 青少年の健全な育成を阻む薬物乱用問題について、 自らが考える機会を持ってもらうため、区内中学生を対 象に実施。 募集時期 7～9月 審査会 10月3日 応募作品数 ポスター265点、標語341点	薬物乱用防止ポスター・標語コンクール 青少年の健全な育成を阻む薬物乱用問題について、 自らが考える機会を持ってもらうため、区内中学生を対 象に実施予定。 募集時期 7～9月 審査会 10月	生活衛生課
		・保護司会、民生委員・ 児童委員、ライオンズ クラブ、警察、東京都 等の関係機関と定期 的な連絡会の開催によ る連携の推進	覚せい剤 等乱用防 止啓発活 動	台東区薬物乱用防止啓発活動関係者連絡会(時期6月) 薬物乱用防止指導員、上野・下谷・浅草・蔵前警察署職 員、東京都薬務課職員で 情報共有・交換を実施した	台東区薬物乱用防止啓発活動関係者連絡会(時期6月) 薬物乱用防止啓発活動関連機関の情報共有・交換 対象 薬物乱用防止指導員、警察署職員、東京都 薬務課職員	生活衛生課
		・国や東京都等が実施 する「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動と連携した薬 物乱用防止キャンペ ーンの実施	覚せい剤 等乱用防 止啓発活 動	懸垂幕掲示実施 掲示期間 令和5年6月16日(金)～9 月29日(金) 青少年フェスティバル、消費生活展、下町こどもまつり、 社会を明るくする運動での普及啓発を実施	薬物乱用防止キャンペーン 6月26日の国際麻薬乱用撲滅デーに合わせた懸垂幕 掲示、パネル展示、啓発品・リーフレットの配布等 時期 未定 場所 台東区役所、台東保健所	生活衛生課
		・薬物乱用防止講習会 の実施	覚せい剤 等乱用防 止啓発活 動	薬物に関する正しい知識を啓発することにより、薬物乱 用の未然防止を図る。 対象 保護司等 時期 1月24日実地 参加 保護司22名	薬物に関する正しい知識を啓発することにより、薬物乱 用の未然防止を図る。 対象 保護司等 時期 12月	生活衛生課
	② 薬物依 存者の社会 復帰への支 援	・社会復帰に向けた相 談の実施	精神保健 福祉相談 等	窓口等で相談を受付した。	社会復帰に向けどのようなことが必要かなど個々人の状 態に応じた相談を実施する。	保健予防課
・薬物依存回復施設等 との連携による社会復 帰の促進		精神障害 者障害福 祉サービス	研修や関係者連絡会へ参加した。	精神保健福祉相談を行うとともに、施設と緊密な連携を 取りながら障害の種類や程度・サービス利用に関する意 向等も踏まえ、適切なサービスの提供を行う。	保健予防課	

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課					
6. 動物愛護管理の推進													
人と動物との調和のとれた共生社会の実現を目指します。	① 飼い主の社会的責任の徹底		・犬の登録及び狂犬病予防注射接種の徹底	狂犬病予防事業	狂犬病予防集合注射・督促通知 時期 4月及び4月10日～15日、10月下旬 対象 犬の飼い主、未注射の飼い主 集合注射実施頭数 約1,707頭 場所 区立公園、保健所、動物病院等14ヵ所	狂犬病予防集合注射・督促通知 時期 4月及び4月8日～13日、10月下旬 対象 犬の飼い主、未注射の飼い主 集合注射実施頭数 約1,200頭 場所 区立公園、保健所、動物病院等14ヵ所		生活衛生課					
								・犬のしつけ教室など 飼い主のマナー啓発	犬の適正飼養講習会	犬のしつけ方教室、子犬のしつけ方講座 回数 10回 対象 犬の飼い主 参加者数 73名(30頭)	犬のしつけ方教室、子犬のしつけ方講座 回数 9回 対象 犬の飼い主 参加者数 未定		生活衛生課
													・保護犬の譲渡推進による殺処分数の削減と犬の終生飼養の普及啓発
	② 飼い主のいない猫対策	・飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成事業の継続実施	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成事業	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成 対象 飼い主のいない猫 助成件数 不妊手術 8件 去勢手術 22件 麻酔のみ 2件	飼い主のいない猫の不妊去勢手術費助成 対象 飼い主のいない猫 助成件数 不妊手術 70件 去勢手術 25件		生活衛生課						
							・地域猫ボランティアや、町会、商店街等地域団体での活動の継続支援	地域猫講習会	地域猫申請時講習会・地域猫講演会(大会) 回数 11回 対象 地域猫ボランティア 参加者数 55名	地域猫申請時講習会・地域猫講演会(大会) 回数 7回 対象 地域猫ボランティア 参加者数 未定		生活衛生課	

各 論 目 細 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
	③ 動物由来感染症対策	・狂犬病などの動物由来感染症対策の実施	動物愛護ふれあいフェスティバル	どうぶつ愛護フェスティバル(シンポジウム) 9月23日(土) 屋内行事 東京国際フォーラム 11月23日(木・祝) 屋外行事 不忍池畔、水上音楽堂 参加者数 7,000人 ※屋内行事は「動物愛護管理法制定50周年記念」で東京国際フォーラムへ ※屋外行事は「動物感謝デー inJAPAN“World Veterinary Day”」と同時開催	どうぶつ愛護フェスティバル(シンポジウム) 9月21日(土) 屋外行事 駒沢オリンピック公園 9月23日(月・祝) 屋内行事 国立科学博物館	生活衛生課
	④ 災害時のペット対策	・飼い主へのペットの防災対策の普及啓発	ペットの災害対策	ペット防災講習会(台東区立社会教育センター) 8月26日(土) オンライン講習会 【関東大震災100年事業】 防災フェスタ(生涯学習センター) 9月2日(土)、3日(日) テント出展・パネル展示 防災フェア(生涯学習センター・金竜公園) 3月9日(土) 講演会 「ペットの命は飼い主が守る!～人とペットの災害対策講演会」 参加者 21名 3月9日(土)、10日(日) テント出展・パネル展示	防災フェア 3月8日(土)、9日(日) 人とペットの災害対策講演会 テント出展・パネル展示	生活衛生課
		・災害時におけるペットの同行避難の体制整備	ペットの災害対策	【関東大震災100年事業】 台東区防災指導者講習会(区役所10階) 7月1日(土) 町会及び住民防災組織(防災団) 参加者 約90名 ペット同行避難訓練(町会防災訓練の中で実施) 11月19日(日) 菊屋橋町会防災訓練 ペット避難所受入訓練(防災フェアの中で実施) 3月9日(土)、10日(日) 金竜公園	ペット同行避難訓練、同行避難説明会 対象 町会防災訓練、避難所運営委員会等 ペット避難所受入訓練(防災フェアの中で実施) 3月8日(土)、9日(日) 金竜公園	生活衛生課

各 論 目 録	細 目 目 録	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績	令和6年度予定	担当課					
					(事業内容、実施時期、回数、対象者等)	(事業内容、実施時期、回数、対象者等)						
IV. 地域医療の充実												
1. 医療サービスやリハビリサービスの確保・充実												
区民生活に不可欠な医療やリハビリサービスを確保・充実していきます。	① 区立台東病院の充実	・高齢者の医療拠点としての機能の維持・充実 ・併設の老人保健施設千束と連携し、リハビリテーション室の機能を活かしたサービスの維持・充実 ・訪問リハビリテーションサービスの充実	台東病院運営	利用者や運営協議会の意見を運営に活かしながら、台東病院と老健千束が一体となって高齢者医療を担う拠点機能等の維持・充実を図った。 病床利用率 87.4% (一般79.4%、回復期91.8%、療養91.1%) 外来1日平均患者数 219.9人 多職種による在宅での医療環境の調整・支援を実施 紹介件数 入院497件、外来804件 逆紹介件数 入院453件、外来1,454件	高齢者医療を担う拠点病院として、利用者や運営協議会からの意見を踏まえ、地域の関係機関と連携しながら、良質な医療・介護サービスを提供する。 高齢者医療を担う拠点機能の充実 在宅療養を支援する機能の充実 関係機関同士の相互連携を促進する機能の充実 災害時医療体制等の強化	健康課						
							② 中核病院機能の充実、強化	・政策的医療の維持・充実	中核病院機能強化支援	政策的医療の安定的な供給等のため、永寿総合病院に対して補助金を交付した。 分娩件数280件、小児科入院患者数584人と産科・小児科の一体的運営を行った。 救急車応需率61.4%	運営協議会の意見を踏まえ、令和6年度以降も引き続き永寿総合病院に補助金を交付し、政策的医療を安定的に供給するとともに、地域からの需要が高まっている医療機能の充実を図る。 (補助対象事業) ・政策的医療 ・認知症高齢者の支援及び在宅療養の推進に係る事業	健康課
	③ かかりつけ医・歯科医・薬剤師(薬局)の定着促進と医療連携の推進	・かかりつけ医・歯科医・薬剤師(薬局)に関する情報提供	医療連携推進	・健康学習会(WEB開催) 1回(5.11.25) 参加者9名 ・かかりつけ薬局定着促進事業(補助)講演会 下谷薬剤師会 講演会実施年7回 参加者113名 浅草薬剤師会 講演会実施年7回 参加者126名 ・医療マップ「台東区の身近なお医者さん」改訂版 35,000部発行	区民が身近な地域で適切な医療を受けられるよう、かかりつけ医等の定着促進、医療連携の普及啓発を図る。 健康学習会 1回 かかりつけ薬局定着促進事業(補助) 継続実施	健康課						
							・各医療機関の専門機能等の情報共有化による効率的な医療連携の推進	医療連携推進	・医療連携推進会議 1回(6.3.19)	・医療連携推進会議 1回(3月)区民が身近な地域で適切な医療を受けられるよう、医療連携の推進について関係機関等と総合的な検討を行う。 医療連携推進会議 1回	健康課	
	④ リハビリテーションサービスの充実	・高齢者の身体機能の維持向上を目指した訓練及びリラクゼーションを取り入れた身体的、精神的なリハビリテーションの実施	台東病院運営	回復期リハビリテーション病床利用率 91.8% 訪問リハビリテーション延利用者数 2,210人	回復期リハビリテーション病棟40床を有するほか、訪問リハビリテーションを実施しており、老健千束と連携しながら主に回復期から維持期までのリハビリテーションを行う。	健康課						
							特別養護老人ホーム 高齢者在宅サービスセンター	高齢者在宅サービスセンター(9か所) 延6,606人 老健千束(通所リハビリテーション) 延9,607人 区立特養(6か所・短期入所生活介護) 延8,890人 老健千束(短期入所療養介護) 延1,493人	高齢者在宅サービスセンター(9か所) 延6,500人 老健千束(通所リハビリテーション) 延10,000人 区立特養(6か所・短期入所生活介護) 延9,000人 老健千束(短期入所療養介護) 延2,000人	高齢福祉課		

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
				・障害者の安定した地域生活のため、松が谷福祉会館の機能訓練室での生活に密着した訓練の実施	障害者社会参加援助(機能回復訓練)	登録者数(3月現在) 16人(8月・12月・1月・3月で1名ずつ増) 利用者数 理学療法 延 924人 作業療法 延 605人 言語療法 延 319人 相談 3人	登録者数(4月現在) 14人 利用者数 理学療法 延 864人 作業療法 延 528人 言語療法 延 336人 ※利用者数は見込みで算出(令和5年度実績より)。	松が谷福祉会館
				・退院、退所後の在宅生活の支援	台東病院運営	退院、退所後の支援としてソーシャルワーカー及び看護師が近隣診療所及びケアマネジャーとの調整を行った。(245回)	区民の退院、退所後の在宅生活をより充実したものにすするため、退院、退所前に近隣診療所及びケアマネジャーとの調整を行う。	健康課

2. 救急医療・災害時医療の充実

救急医療、災害時医療の充実を図ります。	① 救急医療の充実	・休日初期救急医療を継続的に実施	休日診療	休日診療件数 昼間診療 2,901人 準夜間診療 606人 入院 6人 休日歯科診療 156人	医科及び歯科を全休日に実施 医科 1休日あたり2カ所 歯科 1休日あたり1カ所	健康課
		・小児初期救急医療(台東区準夜間・休日こどもクリニック)を継続的に実施	台東区準夜間・休日こどもクリニック	準夜間・休日診療件数 平日準夜間診療 357人 休日昼間診療 801人 休日準夜間診療 207人 運営協議会 こどもクリニック従事者連絡会 2回(5.8.30、6.2.20)(共にWEB開催) こどもクリニック運営協議会 2回(5.9.26、書面開催)	こどもの初期救急に適切に対応するため、小児科医による休日及び平日準夜間の診療を実施し子育てへの不安を解消する。 開設日 月～土曜日(祝日・年末年始等を除く) 日曜・祝日・お盆(8/14～16)・年末年始(12/29～1/3) 運営協議会 こどもクリニック従事者連絡会 2回 こどもクリニック運営協議会 2回	健康課
	② 災害時医療の充実	・災害時における医療情報の集約・一元化、情報連絡体制の整備	医療救護体制整備	医療連携推進会議 災害時連携体制整備部会 1回(6.1.30) 区中央部二次保健医療圏 地域災害医療連携会議(WEB開催) 1回(6.2.28)	医師会等関係機関との会議等で、情報連絡体制の構築に向けた協議を行う。 医療連携推進会議 災害時連携体制整備部会 1回 区中央部二次保健医療圏 地域災害医療連携会議 参加	健康課
		・地区医師会や災害拠点病院等との連携による災害時の医療救護体制の整備	医療救護体制整備	台東区災害医療図上訓練 1回(5.9.3) 医療連携推進会議 災害時連携体制整備部会 1回(6.1.30) 災害時医療研修会 1回(6.2.7) ※関係者との日程調整が不調だったため、緊急医療救護所訓練を中止	災害時における医療救護体制の整備のため、医療救護訓練や研修会を実施し、協議を行う。 緊急医療救護所訓練(2回) 医療連携推進会議 災害時連携体制整備部会(1回) 災害時医療研修会	健康課
		・医療救護所の設置に向けた整備	医療救護体制整備	医療連携推進会議 災害時連携体制整備部会 1回(6.1.30)	「台東区地域防災計画」、「東京都災害時医療救護活動ガイドライン」を踏まえ、大規模災害の発災時における医療救護所の体制構築を進める。 医療連携推進会議 災害時連携体制整備部会 1回	健康課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
				・医薬品や医療用資器材の備蓄や供給体制の構築	医療救護体制整備	緊急医療救護所用資器材・医薬品等の入替 緊急時医薬品備蓄事業補助金 協力薬局数 下谷薬剤師会 29薬局 浅草薬剤師会 38薬局 備蓄方式 ランニングストック方式	発災後における医療救護所で必要となる医薬品や医療資器材の確保に向け、関係機関と連携した備蓄や供給体制の構築を推進する。 緊急医療救護所用資器材・医薬品の充実 緊急時医薬品供給体制整備事業補助金補助金 実施	健康課
				・医療救護訓練の実施	医療救護体制整備	台東区災害医療図上訓練 1回(5.9.3) 医療連携推進会議 災害時連携体制整備部会 1回(6.1.30) 災害時医療研修会 1回(6.2.7) ※関係者との日程調整が不調だったため、緊急医療救護所訓練を中止	災害時における医療救護体制の整備のため、医療救護訓練を実施し、協議を行う。 緊急医療救護所訓練(2回) 医療連携推進会議 災害時連携体制整備部会(1回) 災害時医療研修会(1回)	健康課

3. 在宅療養の支援

情報提供や医療・介護従事者の連携により在宅療養の支援を図ります(雷占)	① 在宅療養連携推進協議会による検討	・「在宅療養連携推進協議会」での医療・介護の多職種による検討	在宅療養連携推進	・在宅療養連携推進協議会 1回(R6.3.25) (委員構成:医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、病院及び地域包括支援センター職員等)	在宅で療養することになる区民がその人らしく、充実した人生が過ごせるよう、医療・介護・福祉の関係者において連携状況の実情把握、その実情に応じた事業のあり方を検討する「在宅療養連携推進協議会」を開催する。 【開催時期】2回(6年9月頃、7年2月頃) 【委員構成】 医師、歯科医師、薬剤師、看護師、ケアマネジャー、病院及び地域包括支援センター職員等	健康課
	② 在宅療養支援窓口による相談対応及び普及啓発	・在宅療養支援窓口での相談対応や関係機関との調整の実施 ・在宅療養に関する情報の普及啓発及び情報提供による支援	在宅療養連携推進 在宅療養連携推進在宅療養連携支援	在宅療養支援窓口の運営 相談件数:794件 実相談人数:194名 在宅療養支援窓口による普及啓発活動 ・講演会 18回実施 ・普及啓発通信 2回発行(R5.11、R6.3) ・お知らせ 3回発行 ・区ホームページでの普及啓発 在宅療養についてのコラムや動画を、区ホームページに掲載。 ・区SNS、メールマガジンでの普及啓発 在宅療養についての知識を月1回配信 たいとう地域包括ケア推進協議会による普及啓発活動 ・講演会 3回 延参加者数384名 ・多職種連携による研修会 9回 延参加者数299名	在宅療養支援窓口において、在宅療養への意向や継続に関する相談に対応する。 (設置場所 台東病院2階) 在宅療養支援窓口 区民向け講演会、医療・介護関係者向けの研修会等を通して、区民、関係機関への情報提供の充実を図る。 また、在宅療養支援窓口への相談事例を紹介する通信の発行、広報紙や区ホームページへの情報掲載など、対面形式以外の取組も併せて継続的に実施する。	健康課 健康課
	③ 切れ目のない在宅医療と介護の提供体制の構築	・切れ目のない在宅医療と在宅介護サービスの提供体制の構築	在宅療養連携推進在宅療養連携支援	・台東病院との在宅療養に関する連携を考える検討会 1回実施(R5.10.12)※ハイブリッド開催	在宅療養連携推進協議会専門部会(切れ目のない在宅医療・介護の提供体制)、台東病院との在宅療養に関する連携を考える検討会を開催し、緊急時の入院ベッド確保事業の充実や課題の検証を行う。	健康課

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
V. 自殺予防の推進（自殺予防推進計画）						
1. 自殺を予防するための環境づくり						
自殺者を減少させるため、こころといのちを大切にすることを地域で推進していきます。	① 自殺の実態調査	・地域の自殺情報の収集、情報の詳細な分析を通じた実態把握	自殺予防対策	人口動態統計や、自殺総合対策推進センターが提供する地域自殺実態プロフィール等から、自殺情報の収集、分析を行い、自殺予防連絡協議会で報告した。	人口動態統計や、自殺総合対策推進センターが提供する地域自殺実態プロフィール等から、自殺情報の収集、分析を行う。	保健予防課
		・分析結果に基づいた効果的な自殺予防対策の検討	自殺予防対策	自殺予防連絡協議会：令和6年3月25日(月)14時～15時 対象者：医師及び関係機関 自殺予防対策の施策や取り組むべき課題についての検討を行った。	自殺予防対策連絡協議会において、自殺予防対策の施策や取り組むべき課題についての検討を行う。	保健予防課
	② 相談窓口情報等の発信	・自殺予防啓発カードやパンフレット等を作成し、区民へ相談窓口を周知	自殺予防対策	自殺予防啓発パンフレット(生徒用)を作成・配布し、啓発を行った。	自殺予防啓発のパンフレットやカードなどを作成・配布し、啓発を行っていく。	保健予防課
		・区ホームページ等を通じて、相談窓口やこころの健康相談を周知	自殺予防対策	こころの健康やいのちに関する情報を区ホームページに掲載。	こころの健康やいのちに関する情報を区ホームページに掲載。	保健予防課
	③ 区民一人ひとりの気づきと見守りの推進	・自殺予防強化月間(9月、3月)での区内施設におけるパネル展示	自殺予防対策	台東保健所及び区役所1階にて自殺の状況や相談窓口に関する情報提供を行った。(9月・3月) ※年2回	台東保健所及び区役所1階にて自殺の状況や相談窓口に関する情報提供を行う。(9月・3月) ※年2回	保健予防課
		・啓発冊子や区ホームページを通じて、自殺予防に関する正しい知識の普及	自殺予防対策	窓口などを通じて啓発冊子を配布するほか、区ホームページ・SNSを通じて、自殺予防に関する情報提供を行った。 また、中学生向けにリーフレットを作成し配布した。	窓口などを通じて啓発冊子を配布するほか、区ホームページ・SNSを通じて、自殺予防に関する情報提供を行う。 また、中学生向けにリーフレットを作成し配布する。	保健予防課
			教育相談	区立小・中学校を訪問して、スクールカウンセラーの専門性を生かした学校教育相談の体制づくりや、教育相談室との適切な連携についての協議や情報交換を行った。 また私立を含む幼稚園・保育園・こども園に対しては、教育相談員が園児の観察を通じた助言を行った。 連携訪問件数 34校(園) 34件	区立小・中学校を訪問して、スクールカウンセラーの専門性を生かした学校教育相談の体制づくりや、教育相談室との適切な連携についての協議や情報交換を行う。 また私立を含む幼稚園・保育園・こども園に対しては、教育相談員が園児の観察を通じた助言を行う。	教育支援館

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			④ こころの健康づくりの推進	・自殺予防に関する講演会の開催	自殺予防対策	○自殺予防啓発講演会 (日時及び会場) 令和6年3月11日(月曜日) 10:00~12:00 オンライン(ZOOM)及び参集(オンライン参加できない人) (講師)綾瀬メンタルクリニック 中村 光 医師 (内容)「女性のメンタルヘルス」 ・女性の主なメンタルヘルス課題(産後うつ、月経関連など女性特有の気分障害、更年期など)とその背景要因(対人関係、育児環境、コロナ以降の生活困窮、DV被害等) ・本人の生きづらさの解消のヒント ・周囲の気づきや支援のあり方 等 (参加者数)14人	自殺予防啓発講演会の開催(1回)	保健予防課
					台東区働き方セミナー 職場のメンタルヘルス	なし (コロナ禍で変容した労働者の心理や精神的負担を和らげる方法等を学び、精神的不調による休職・退職を予防する一助となるよう、令和3年度のみ実施した単年度事業)	なし (コロナ禍で変容した労働者の心理や精神的負担を和らげる方法等を学び、精神的不調による休職・退職を予防する一助となるよう、令和3年度のみ実施した単年度事業)	産業振興課
				・事業者や学校等からの要請に基づく出前講座の実施	自殺予防対策	区職員及び事業者に対するゲートキーパー養成講座(4回) 受講者数 223人	児童生徒のSOSの出し方に関する教育など、学校からの要請や、事業者、地域からの要請に基づき、随時ゲートキーパー養成講座等を実施	保健予防課
				・自殺のハイリスク層に対する効果的な施策の検討	自殺予防対策	自殺未遂者支援部会 日時:令和5年12月12日(火)18:00~19:00 対象者:医師及び関係機関 ハイリスク層に対する効果的な施策や取り組むべき課題についての検討を行った。	自殺未遂者支援部会(年2回) ハイリスク層に対する効果的な施策や取り組むべき課題についての検討を行う。	保健予防課
				・小中学校の児童生徒に対する相談窓口の周知及びスクールカウンセラーによる相談の実施	スクールカウンセラー	小中学校での不登校やいじめ、しつけや心の問題等の教育相談を行い、カウンセリング等の機能充実を図るため、全区立小・中学校にカウンセラーを配置。 配置体制 小学校1校あたり週2日(年間616時間) 中学校1校あたり週1日(年間308時間) 1日7時間配置	小中学校での不登校やいじめ、しつけや心の問題等の教育相談を行い、カウンセリング等の機能充実を図るため、全区立小・中学校にカウンセラーを配置。 配置体制 小学校1校あたり週2日(年間616時間) 中学校1校あたり週1日(年間308時間) 1日7時間配置	指導課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
					教育相談	臨床心理士によるカウンセリング 本人や保護者を対象に子供の教育上のさまざまな悩みに関して、カウンセリングを実施。 来所相談 2,402件 電話相談 87件 オンライン相談 1件 1人1台端末を活用した子供の相談 受付6件	臨床心理士によるカウンセリング 本人や保護者を対象に子供の教育上のさまざまな悩みに関して、カウンセリングを実施。 来所相談(予約制) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～17:30 電話相談(随時) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～16:30 ※来所・電話相談とも水曜日は18:30まで オンライン相談(予約制) 月～金曜日、第2・4土曜日(除祝日) 9:30～16:30 1人1台端末を活用した子供の相談 対象 台東区立小中学校児童・生徒	教育支援館

2. 相談体制の充実による自殺予防

<p>① 早期対応の役割を果たすゲートキーパーを養成します。</p> <p>② 相談支援体制の充実を図り、早期の適切な医療やこころのケアにつなげます。</p>	<p>① 早期対応の中心的役割を果たす「ゲートキーパー」の養成</p>	<p>・区民や事業者など様々な方を対象としたゲートキーパー養成講座の開催</p>	自殺予防対策	ゲートキーパー養成講座(3回) 受講者数 192人	ゲートキーパー養成講座 対象 区民・区内事業者など	保健予防課
		<p>・区職員を対象としたゲートキーパー養成講座の開催</p>	自殺予防対策	ゲートキーパー養成講座 開催日 5月29日 受講者31人	ゲートキーパー養成講座 開催日 5月実施予定	保健予防課
	<p>② 相談者の悩みに応じた適切な対応</p>	<p>・法律問題や雇用問題・身体の悩みなど、複数の悩みを抱えた方を対象とした「暮らしとこころの総合相談会」の開催</p>	自殺予防対策	暮らしとこころの総合相談会 ※中止	暮らしとこころの総合相談会は開催せず、随時、適切な部署及び関係機関へ相談をつなぐことで、悩みや問題の解決を図る。	保健予防課
		<p>・各関係機関との協議に基づく相談者の状況に応じた支援方針の策定</p>	自殺予防対策	自殺未遂者支援部会 日時: 令和5年12月12日(火)18:00～19:00 対象者: 医師及び関係機関 ハイリスク層に対する効果的な施策や取り組むべき課題についての検討を行った。	各関係機関と連携体制を構築し、必要に応じて会議を開催し、相談者の状況等に応じた支援方針の策定を行う。(随時)	保健予防課
	<p>③ 自殺予防対策対応マニュアルの拡充</p>	<p>・支援のあり方を検討し、マニュアルの見直しを図る</p>	自殺予防対策	支援者向け対応マニュアルの見直しを随時実施。	これまでの支援の実績を踏まえ、逐次支援のあり方を検討し、随時支援者向け対応マニュアルを充実させる。	保健予防課
		<p>・適切な支援を行うため、研修参加や自己啓発により職員のスキルアップを図る</p>	自殺予防対策	研修などを通じて、職員に周知し、支援のためのスキルアップを図った。	自殺予防対策対応マニュアルを職員に周知し、各職員が自己啓発により支援のためのスキルアップを促進する。	保健予防課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
3. 自殺未遂者の支援体制の充実								
① 地域医療機関等との連携により、自殺未遂者に対し適切な支援を行います。 ② 万一の際、遺された遺族に対する適切な情報提供を行い、心のケアに努めます。	① 自殺未遂者に関する情報の収集	・医療機関等との連携を深め、自殺未遂者に関する情報の的確な把握	自殺予防対策	日医大を始めとする病院との連携を図り、自殺未遂者に関する情報を収集・把握し、関係機関と共に、迅速かつ的確な支援体制を構築した。	救急病院等との連携を図るとともに、関係機関から自殺未遂者に関する情報を収集・把握し、迅速かつ的確な支援体制を構築する。	保健予防課		
							② 自殺未遂者に対するケアの充実	・面談、訪問等を通じて寄り添った支援を実施
	③ 自死遺族のための適切な情報提供	・医療機関や支援機関等との支援方針検討会の開催	自殺予防対策	随時、支援方針検討会を実施した。	必要に応じて支援関係機関による支援方針検討会(ケアカンファレンス)を開催し、未遂者に対する今後の支援方針を検討する。	保健予防課		
							・面談、訪問等を通じて支援方針を決定し適切な支援を実施	自殺予防対策
	・自死遺族が求める情報や相談機関に関する情報の提供	自殺予防対策	相談機関に関する情報の提供等の支援を随時実施。戸籍住民サービス課で配布する手続き一覧の中に相談窓口を掲載。	自死遺族が求める情報(法律、遺族会など)に対し、適切に社会資源につなぐことにより遺族に対する支援を図る。	保健予防課			

各 論 目 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
VI. 食育の推進（食育推進計画）						
1. ライフステージに応じた食育の推進						
ライフステージの特性に合わせた食育を推進します。	① 乳幼児およびその保護者に対する取り組み	・各種講習会の実施	食生活支援	離乳食講習会 18回(134人) 幼児食講習会 6回(59人) 親子クッキング 1回(18人) 夏休み実験隊 1回(21人) 栄養出前講座 5回(86人)	離乳食講習会 18回 幼児食講習会 6回 親子クッキング 1回 栄養出前講座 随時	保健サービス課
		・個別相談の充実	食生活支援	栄養相談 36回(延104人) 栄養出前講座 年5回86人	栄養相談 36回 栄養出前講座 随時	保健サービス課
		・区広報紙、区ホームページ、けんこうの芽、メールマガジン等における啓発	食生活支援	区広報紙掲載 区ホームページ掲載(随時更新) メールマガジン配信(5回)	区広報紙掲載 随時 区ホームページ掲載 随時 メールマガジン配信 随時	保健サービス課
	② 保育園における取り組み	・適切な給食の提供	保育所給食管理	乳幼児期の発育・発達の過程に応じた食事の提供	乳幼児期の発育・発達の過程に応じた食事の提供	児童保育課
		・食材に触れる体験	保育所給食管理	各園における野菜の栽培・食材の展示 随時	各園における野菜の栽培・食材の展示 随時	児童保育課
		・食育だよりの発行	保育所給食管理	食育だより(特集等) 4回 食育だより 毎月	食育だより(特集等) 4回 食育だより 毎月	児童保育課
		・子育て広場	保育所給食管理	保育園の給食紹介や離乳食・幼児食を中心とした食の情報提供及び栄養相談を実施 対象:未就園児及び保護者 実施時期:5・9・11月(3回/年)	保育園の給食紹介や離乳食・幼児食を中心とした食の情報提供及び栄養相談を実施 対象:未就園児及び保護者 実施時期:5・9・12月(3回/年)	児童保育課
	③ 学校における取り組み	ア 給食を通して、食事の喜びと楽しさを学びます。	小学校給食食育推進	・都内農産物の給食導入 小中学校26校で実施 ・国産食材を一層活用した給食 小中学校26校で実施 (米粉パン1回、国産小麦麺2回を主食とした、国産食材での給食)	・都内農産物の給食導入 小中学校26校で実施 ・国産食材を一層活用した給食 小中学校26校で実施	学務課
		イ 食事の正しい摂り方を学び、心身の成長と健康の増進を図ります。	中学校給食食育推進			
		ウ 授業を通して、自ら進んで健康管理ができる能力を身につけます。	小学校給食食育推進 中学校給食食育推進	各学校で推進 ・給食を通して、食事の喜びと楽しさを学ぶ ・食事の正しい摂り方を学ばせ、心身の成長と健康の増進を図る ・授業を通して、自ら進んで健康管理ができる能力を身に付ける	各学校で推進 ・給食を通して、食事の喜びと楽しさを学ぶ ・食事の正しい摂り方を学ばせ、心身の成長と健康の増進を図る ・授業を通して、自ら進んで健康管理ができる能力を身に付ける	指導課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			④ 成人・高齢者への取り組み	・生活習慣病の発症と重症化予防 ・低栄養、誤嚥等の予防	食生活支援	栄養相談 36回(延104人) 栄養出前講座 年5回86人 電話・所内相談等 随時(延1149人)	栄養相談 36回 栄養出前講座 随時 電話・所内相談等 随時	保健サービス課
					家庭教育の振興	保育園・こども園・幼稚園、小学校・中学校PTAを対象とした家庭教育学級等において、家庭や学校給食での食育に関する学習、啓発の機会提供を図った。子どもたちにとって身近な給食を用いながら苦手な食べ物の克服の仕方や栄養面での配慮など家庭での食育にも繋がる内容を盛り込んで開催した。(42会場の一部で実施) 実施方法:集合型	保育園・こども園・幼稚園、小学校・中学校PTAを対象とした家庭教育学級等において、家庭や学校給食での食育に関する学習、啓発の機会提供を図る。(42会場の一部で実施) 実施方法:集合型・オンライン	生涯学習課

2. 健康寿命の延伸につながる食育の推進

生活習慣病を予防する食生活を実践することで、健康寿命の延伸につなげます。	① 栄養のバランスのよい食事と減塩、野菜の摂取量を増やす取り組み	・健診、講習会、出前講座等における情報提供	食生活支援	糖尿病予防教室 2回16人参加 栄養相談 36回(延104人参加) 栄養出前講座 5回(86人)	糖尿病予防教室 2回 栄養相談 36回 栄養出前講座 随時	保健サービス課
		・栄養相談の充実	食生活支援	栄養相談 36回(延104人) 電話・所内相談等 随時(延1149人)	栄養相談 36回 電話・所内相談等 随時	保健サービス課
		・食生活改善普及運動等における啓発	食生活支援	健康増進普及月間・食生活改善普及運動(9月) 内容 パネル展示、資料配布、ポスター掲示、メールマガジン配信 実施場所 台東保健所、浅草保健相談センター、生涯学習センター、区役所地下食堂、図書館、区内スーパーマーケット、コンビニエンスストア	食生活改善普及運動におけるキャンペーンの実施(9月)	保健サービス課
			食育キャンペーン	食育月間展示(6月) 内容:食育に関するパネル展示、リーフレット配布等 実施場所:台東保健所、浅草保健相談センター、生涯学習センター、区役所地下食堂、図書館 食育イベント ①10月1日(下町こどもまつり 場所:旧都立上野忍岡高等学校跡地) 内容:野菜クイズ、資料配布、パネル展示 ②10月9日(スポーツの祭典2023 場所:リバーサイドスポーツセンター) 内容:食育SATシステムによる食事診断および栄養相談、パネル展示、リーフレット配布等	食育キャンペーンの実施	保健サービス課
			食育事例集の発行	食育啓発冊子の発行(3月) 16,000部	令和5年度で終了	保健サービス課
		・区ホームページによる啓発	食生活支援	随時	随時	保健サービス課

各論	項目	細目	目標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
			② 給食施設への食に関する情報提供	・給食施設における食育の推進	特定給食施設指導	私立保育園等における食育に関する情報提供 随時 私立保育園栄養士向け研修会 1回	私立保育園等における食育に関する情報提供 随時 私立保育園栄養士向け研修会 1回	保健サービス課
		・保育園等への食育指導媒体の貸出し		特定給食施設指導	食育のためのエプロンシアター、パペット人形等の貸出(随時)	食育のためのエプロンシアター、パペット人形等の貸出(随時)	保健サービス課	
		・栄養や食に関する情報のメール配信		特定給食施設指導	栄養情報の配信(20回) 77施設	栄養情報の配信(20回) 72施設	保健サービス課	
		・給食施設向け講習会の実施		特定給食施設指導	集団指導 10月及び2月 95人 個別指導 185件	集団指導 講習会 個別指導 随時	保健サービス課	
		③ 食育支援のための人材育成	・食育リーダーの育成	食育リーダー研修	幼稚園・こども園教員、小・中学校教員を対象に食育リーダーの資質向上及び各校の食育の推進を図ることを目指し、研修を実施。(2回)	幼稚園・こども園教員、小・中学校教員を対象に食育リーダーの資質向上及び各校の食育の推進を図ることを目指し、研修を実施。(2回)	指導課	
			・食育ボランティア(たいとう栄養士会)の活動支援と協働	食生活支援	区内在住の管理栄養士・栄養士が活動している「たいとう栄養士会」への支援 定例会	区内在住の管理栄養士・栄養士が活動している「たいとう栄養士会」への支援 総会・定例会、自主企画事業、保健所事業への協力等(随時)	保健サービス課	

3. 食の循環や環境を意識した食育の推進

生産から消費までの一連の食の循環と環境を考え、安全・安心な食生活を目指します。	① 食の安全・安心の確保	・食の安全講座の実施	食品安全情報の提供	消費者・食品等事業者・行政間で食品安全確保に関する情報及び意見交換を行った。 意見交換会 3回	消費者・食品等事業者・行政間で食品安全確保に関する情報及び意見交換を行い、相互理解し協力する。 意見交換会 3回	生活衛生課
		・学童期の食品衛生教室等の実施	食品安全情報の提供	食中毒予防器具の貸与し食の安全に関する情報提供を行った。 食中毒予防エプロンシアター 6回	食中毒予防器具の貸与により(エプロンシアター)食の安全に関する情報提供を行う。 対象 区内小学生	生活衛生課
		・食品関連事業者等への適正な食品表示に関する指導と啓発	食品衛生監視指導	通常監視時に加え、夏期・歳末の時期に表示の一斉監視を実施した。	食品表示法に基づき、輸入業者、製造業、販売業に立入り、表示指導を行う。 対象 食品等事業者	生活衛生課
			食生活支援	食品表示法に基づく表示指導を実施 栄養成分表示等に関する相談(延42件) 対象 食品等事業者	食品表示法に基づき、立入り、表示指導を行う。(随時) 栄養成分表示等に関する事前相談 対象 食品等事業者	保健サービス課

各 論 目 細 目	目 標	具体的な取り組み	実施事業名	令和5年度実績 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	令和6年度予定 (事業内容、実施時期、回数、対象者等)	担当課
	② アレルギーマ対策	・区ホームページによる食物アレルギーに関する啓発	食物アレルギーに関する啓発	区ホームページ掲載(随時)	区ホームページ掲載(随時)	保健サービス課
		・母子健診時等における適切な情報提供	3.4か月児健診	3.4か月児健診時にリーフレットを配布 健診時の食物アレルギー相談(随時)	3.4か月児健診時にリーフレットを配布 健診時の食物アレルギー相談(随時)	保健サービス課
		・専門医、看護師によるアレルギー相談や講演会	健康相談	令和4年度をもって事業廃止	令和4年度をもって事業廃止	保健予防課
	③ 食品ロス対策	・食品ロスを削減するための行動につなげる普及啓発	食の「もったいない」意識の啓発	食品ロス削減啓発番組制作 「食品ロス減らすとどうなる?～未来に向けて、今できること～」 7/16～7/22台東区CATVで放送、7/16～台東区公式YouTubeチャンネルで配信	食品ロス削減啓発すごろくの作成	清掃リサイクル課
				食品ロス削減に関するパネル展示 場所 ①庁舎1階ロビー②生涯学習センターロビー ③地下食堂前 期間 ①10月2日～6日②10月1日～19日 ③10月2日～31日	食品ロス削減に関するパネル展示 場所 ①庁舎1階ロビー②生涯学習センターロビー ③地下食堂前 期間 ①10月1日～25日②10月1日～17日 ③10月1日～31日	
		・賞味期限・消費期限を含めた食品表示に関する情報提供	食の「もったいない」意識の啓発	食品ロス削減リーフレットの配布(窓口等) 内容 賞味期限・消費期限についての情報を掲載	食品ロス削減リーフレットの配布(窓口等) 内容 賞味期限・消費期限についての情報を掲載	清掃リサイクル課
			フードドライブ(イベント時) 令和5年6月24日、25日 常設フードドライブ 量ってみようキャンペーンの実施 食品ロス削減無人販売機「fuubo(フーボ)」の設置	フードドライブ(イベント時) 令和6年6月22日、23日 常設フードドライブ 量ってみようキャンペーンの実施 食品ロス削減無人販売機「fuubo(フーボ)」活用で削減されるCO2排出量の公表		